				平成2	?7年度	事務事業振	返りシート	(平成26年度 実施事業	業の振返り)				
1. 基本	情報												
事務事		01080501	00020101	<b>車</b>	2 拟击章	計画総務管理事務	車業	·	担当部	建設部			
	ド	01000001	00020101	争伤争木	1 10 11 1 1	四応伤官 生ず伤	尹未		担当課	都市計画課			
政策:	名	01	快適	で魅力あるま	ちづくり				グループ	都市計画G			
施策:	名	01	生活	基盤の充実					電話番号	45-5111			
基本事		03	地域	にあった土地	利用の規	制·誘導			内線番号	2872			
子	会計	一般	会計				声	□ 単年度のみ					
予 算 科	款	08	土木	費			事業期間	■ <b>単年度繰返</b> (開始年度 H 17 年度~)					
科	項	05	都市	計画費			₩.IEI	□ 期間限定複数年度	(	~ )			
目	目	01	都市	計画総務費			根拠法令·条例等						
評価区	☑分		簡易評	平価 評価	価対象	1次評価	関連計画						
2. 事務	事業(	の概要	要・目	的-指標	<do></do>								
(1)事	務事	集の権	既要(	具体的なや	方、手順	、詳細を記述)							
【施設光熱	務の報 熱水費	対行に 支払	必要/ 事務】			法令集等の追録など		等を購入する。 るため、雷気・水道料を支払	<b></b>				

【機械・データ使用契約事務】 地図購入の際に使用する大型コピー機や、事業を行うための積算の基礎となるデータ等を利用するため、賃貸借契約を行う。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
				(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	消耗品等購入件数		件			88	80	75
1	施設の光熱水費		円			69,963	69,000	69,000
ゥ	賃貸借契約額		円			1,340,244	1,340,244	1,340,244
(2	2)事務事業の目的							
_	) <b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	<b>25年度</b> (実績)	<b>26年度</b> (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア	課内の各種業務							
1								
ゥ								
_	) <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	円滑に実施される							
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
	・基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	適切な土地利用がなされる	THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH					()- 0()	
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版) (平成26年12月策定)において、持続可能な 健全財政を確立するため歳出削減に関する取 組を全庁的に推進する必要があるとされ、その 中で、需用費や役務費については常にコストを 意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・ 水道の浪費等を歳に慎むこことで節減に努め、 また、ランニングコスト縮減に資する機器の導入 等を検討し、維持管理費の縮減に努めることとさ れている。

4.	事	<b>类</b> 費	の‡	<b>推移</b>			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度
		国庫支出金					千円	(6.1317	(6.1317	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円			392	410	410
投入量			_	般	財	源	千円			2,429	3,126	3,126
量		事	業	費			千円	0	0	2,821	3,536	3,536

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

#### <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

<左記の実績(取組)による成果を記載>

【消耗品等購入事務】
・88件 消耗品費 1,014,728円 【施設光熱水費支払事務】
・69,693円 【機械・データ使用契約事務】
・使用料及び賃貸借料 1,340,244円

【消耗品等購入事務】
・消耗品等購入により、課の事務が円滑に行われた。
【施設光熱水費支払事務】
・管理を行うことで、施設を維持することができた。
【機械・データ使用契約事務】
・賃貸借契約を行うことで、事業実施を行うことや、地図購入者等に対応することができた。

哥	事務事コード		01080	50100020101	事 務事業名	都市計	画総務管	<b>管理事務事業</b>	担 担 当	部課	建設都市計	
6.	振り返	<b>y</b> <	(SEE>						珥	自由		
	① =	の事	務事業0	の目的は、基本	事業の意図に網	吉びついています	ナか?					
			結びつ	いている								
A 目			間接的		いる							
的妥			結びつ	いていない								
A目的妥当性	2:	この事	業をなった。	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ーーーー ければならないの	<b>りですか?</b>						
		が並る	妥当で		1 5 7 13. :							
				<u> </u>								
	(3) E	世里が	向トする	5全地(可能性)	) はありませんか	N 2						
						· ·						
				る余地はかなりる余地はある種								
				る余地はほとん								
B有効性	4 3			響はありません	U.D. ?							
効性			影響が									
	_ *	□ 類似の		『ほとんどない 	形能(イベントや)	啓発等)を持つ他	の事務	類似事業がある#	<u> </u>			
					の主体が実施する		マノチイカ	類似事業がある場合の事務事業名等	Ť			
				事業はない								
					統合又は連携							
		車数車			たるスは連携でき		the	保存年限の過ぎた	書類け廃棄!	・ 保左の†	- めの事数	田品を雨4
	6	神務争補助金	未の手段など、交付	付先に働きかけて	することで、事業質に、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	)	することで、消耗品	費を減らすこ	とができる。	ニいノマノ デイ方。	11 HH C +7/1
			削減で	きない								
C 効		=	削減で					D476 人 31 、 一 ·	2. 廊 / : :	7.0	a Dt I = w'	A)
率性	(7) で	きませ	んか?		することで、人件妻 件費を削減できま	捜(延べ業務時間): せんか?	を削減	財務会計システム	と駆使している	らい で、これ	い人上の削	秋  よできた。
	,	戦員以	削減で		T A CHING COST	Cross:						
		_	削減で									
_			業の内容	容が一部の受益	益者に偏っている							
D公平性	<b>3</b>	た、受		担の公平性が 公正である	確保されていま	9 70 '?						
性				び正である  必要がある								
7	1 Mr.55				# & h 📥 >							
•	次評	世紀:	末 くト	PLAN>(組織	以决定)	【参考】前	年度の改革	改善の方向性≪				>
	事務事		D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小 連携	統合		休止	廃止 ————
以 2	当の力	刊生		0	0							
革己	平成2 牧善の り組む	内容		保仔牛限の過	さた香類は廃棄	らし、保存のため	の事務用	品を再利用するこ	とで、消耗品	買を減らす	ことが <i>でき</i> る	Do.
(3)	) 平成2 生•取約	28年度 祖目標	₹の方	保存年限の過	ぎた書類は廃棄	し、保存のため	の事務用	品を再利用するこ	とで、消耗品が	費を減らす	ことができる	5.
	<u>014-23</u>			14 da = 52 das								
٥.	2次評	個結:	果 (担	当部長評価)							45.7	
					11111111111	コスト拡充	コスト	縮小 連携	統合		休止	廃止
	事務事		)改革	<b>継続</b>	やり方改善	コストが元			196 🗀		<b>水正</b>	
	事務等		)改革	<b>継続</b>	やり万改善	コストがなん			190		<b>小</b> 亚	

	多事業 一ド	0108050100020101	事 務 事業名	都市計画	総務管理事務事業	担当部	建設部
		n Lik Th	尹禾石			担当課	都市計画課
9. =	コストロ	D推移					
		(単位:千円)	平成264	丰度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	픽	P成28年度(計画)
1	報	州画					
2	給	料					
3		員 手 当 等					
4	共	済 費					
5		害補償費					
7	賃	金					
8	報	償 費					
9	旅	費		13		23	23
10	交	際費					
11	需_	用 費		1,257	1,	896	1,896
	ii	肖 耗 品 費		1,015	1,	400	1,400
	煤	然 料 費		134		232	232
	1	き 糧 費					
	E	[]刷製本費		0		0	
	ť	七熱 水費		70		64	64
	作	多 繕 料		38		200	200
	Ŗ	有材料費					
	食	司 料 費					
	3	医薬材料費					
12	役	務 費		59		111	111
	ĭ	通信 運 搬 費					
	17	5 告 料					
	=						
	4	呆 険 料		59		111	111
13	委	託 料		144		144	144
14	使用	料及び賃借料		1,340	1,	341	1,341
15	I :	事請負費					
16	原	材 料 費					
17		財産購入費					
18		品購入費					
19		金補助及び交付金		0		4	4
20	扶	助費					
21		付 金					
22		補填及び賠償金					

## 補助基本額 平成26年度補正•流用状況

23 償還金利子及び割引料 24 投資及び出資金

附

課

出

国庫支出金

般 財 源

玉

県

金

金

費

金

25 積

28 繰

計

補助率

26 寄

27 公

財源内訳

当初予算	3,624
補正予算	0
流用・充用	-634
予算合計	2,990

#### 平成26年度特定財源内訳

8

0

0

0

392

2,429

2,821

2,821

区分	名称	金額
その他	その他土木手数料	62
その他	雑入(都市計画図等分譲代他)	330
		0
	合 計	392
		392

17

0

0

0

410

3,126

3,536

3,536

17

3,536

410

3,126

3,536

-	. 基本	梅胡										
r	事務事	業	0100050	101010302	主	<b>坐</b> 夕	拟古言	十画審議会運営事	T 数 車 業		担当部	建設部
	コート	,	0108030	101010302	尹衍尹:	未和	日り川百	四	伤争未		担当課	都市計画課
									都市計画グループ			
	施策	名	01	生活	基盤の充	実					電話番号	45-5111
-	基本事	業名	03	地域	にあった:	上地利	用の規	制·誘導			内線番号	2871
	予	会計	一般	会計					<del>+ **</del>	□ 単年度のみ		
	予 算 科	款	08	土木	費				事業期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>年</sup>	F度 S	43 年度~)
	科	項	05	都市	計画費				79][中]	□ 期間限定複数年度	(	~ )
	Ħ	Ш	01	都市	計画総務	費			根拠法令·条例等	都市計画法第77条の2、	霧島市都市計	画審議会条例
	評価区	分		簡易評	平価	評価	対象	1次評価	関連計画	霧島市都市計画マスター	プラン	
=												

# 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do> (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

都市計画法第77条の2第1項の規定に基づき設置するものであり、都市計画の決定又は変更する場合において、同法第19条、第21条及び第22条の規定により審議会を開催し、審議する。 霧島市都市計画審議会条例第3条の規程により委員(15名以内①学識経験のある者5人以内②市議会議員3人以内③関係行政機関の職員又は 鹿児島県の職員3人以内④本市に所在を有する者4人以内))に市長が委嘱(任期2年)し、都市計画の決定や変更がある場合は市長から会長へ 審議会開催の依頼を行い、審議会により調査審議した結果を会長が市長へ報告する。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	都市計画審議会の開催		П	2	1	0	3	3
1								
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	<b>25年度</b> (実績)	26年 <b>度</b> (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア	都市計画の決定又は変更事項	審議案件	件	2	1	0	3	3
1								
ゥ								
	) <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	<ul><li>⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)</li></ul>	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度
ア	調査審議		件					
1								
ゥ								
(3	B)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 とらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	適切な土地利用がなされる							
1								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

都市計画審議会は、都市計画の内容が市民に 一定の義務を課すものであり、かつ、都市の発展に重大な影響を及ぼすものであることから、行政部局のみならず学識経験者等の意見を広く取り入れ、同時に関係行政機関との調整を十分に図っていくために設置されたものである。調査審議の対象となる都市計画の決定や変更事案は年に数件発生している状況である。

4	nter d	* 曲	on t	<b>佳移</b>			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	R IR	,V) 1	生物			半位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	金	千円			0	0	0
	事	25				金	千円			0	0	0
	事業費	源内	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			0	197	197
量		哥	業	費			千円	0	0	0	197	197

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

任期満了に伴う次期委員の委嘱手続きを行った。 (平成24年6月1日~平成26年5月31日)

委員14名について、任期2年の委嘱を行うことができた。 (平成26年7月1日~平成28年6月30日)

哥	事務	事業 -ド	01080	50101010302	事 務事業名	都市計画	審議会	全運営事	事務事業 「 <b>あ</b>	担担			建設部 5計画課
6.	振り	返り <	SEE>	<b>•</b>						-		<u> </u>	
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	詰びついています	か?						
			結びつ	いている									
A			間接的	かに結びついてし	 vる								
的型			結びつ	いていない									
A目的妥当性	2	·この§	事業をな	ぜ市が行わなけ	ければならないの	のですか?							
II.		一	を投入し	て達成する目的	769707								
				.める  <sup>-</sup> 必要がある									
	(3)			る余地(可能性)	けなりません.ナ	i) 2							
						J. :							
				る余地はかなり									
				る余地はある程									
	_			る余地はほとん									
B有効性	4	廃止・1	休止の影	ジ響はありません 	しか? 								
効性			影響か	<b>、ある</b>									
		JKT /IVI @		「ほとんどない	TA Alba		o ====						
	5	類似の事業は	り目的(対	対象・意図)又は けんか?(市以外の	形態(イベントや) の主体が実施する	啓発等)を持つ他( るものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等				
			類似σ	事業はない									
			類似σ	事業はあるが、	統合又は連携	できない							
			類似σ	事業があり、統	合又は連携で	きる							
	6	·事務事 ·補助金	事業の手段 会など、交	役(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	貴を削減できません 或できませんか?	か?	審議調会の開	査が必要とされ 催回数の減少	いる複 を図る	数の事類 ことで、	巻の調整により、 委員報酬を削え	都市計画審議 載できる。
			削減で	きない									
Ç			削減で	きる									
C効率性	7)	<ul><li>事務事できませ</li></ul>	業の手具	设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)を	を削減	審議調会の開	査が必要とされ	いる複 を図る	数の事乳	との調整により、 業務時間を削え	都市計画審議 載できる。
111				なや委託により人	牛費を削減できま	せんか?					, , ,	>103 VII.3 CIIVI	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
				きない									
		<b>事</b>	削減で		<b>た</b> おに こ てい	±11.7.4.0							
D.	8			容が一部の受益 負担の公平性が									
D公平性			公平・	公正である									
			見直す	必要がある									
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	決定)	【参考】前年	年度の改	革改善の方	「向性≪				<b>»</b>
(1)	事系	多事業(	か改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小			統合	休止	廃止
		方向性		0	0								
				審議調査が必	要とされる複数の	     りま案の調整に。	より、都i		F議会の開催回	回数の	減少を	 図る。	
(2)	平月	成27年月	きの改										
革司	女善(	の内容											
1 (7)	7 /111		11 N.Z.										
				審議調査が必	要とされる複数の	の事案の調整に。	より、都i	<b></b> 十計画審	F議会の開催回	回数の	減少を国	型る。	
(3) 向性	平月 生・取	成28年月 双組目標	度の方										
	_ ',												
8.	2次	評価結	果(推	当部長評価)									
(1)	車系	多事業の	が対対	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小			統合	休止	廃止
		の性	ル以甲		、刀吸音	- ×1 1/4/6	-7/1	with 1 1	<b>在</b> 功		יוסי בו		
(2)	総	評											

事務事業 0108050101010302 事			事務事業名		都市計画	審議会運営事務	担当部担当部			
	ストの							12-16	T HP11	пык
		(単位:千円)	平成26年	唐 (油	1質)	平成27年1	变 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	#G	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	十八次20年	- 及 (		十八八十八	文(当初了并)		一,以20千皮	
2	<u>報</u> 給				0			170		170
3		1 手 当 等								
4	共	済 費								
5 7	<u>災</u>	補 償 費金								
8	具 報									
9	旅				0			27		27
10	交	際費								
11	需	用 費			0			0		0
	燃燃	耗品費料費								
	食									
		刷製本費								
	_	熱水費								
	修賄	# 料 樹材 料 費								
	飼	料費								
		薬材料費								
12	役	務費			0			0		0
	通広	信運搬費 告 料								
	手									
	保									
13	委	託 料								
14		科及び賃借料 請 負 費								
15 16		材料費								
17		財産購入費								
18	備品	購入費								
19		補助及び交付金								
20 21	<u>扶</u>	助   費     付   金								
22		<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>								
23		利子及び割引料								
24		及び出資金								
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金								
27	<del>可</del> 公									
28	 繰	出金								
	計				0			197		197
	特層	庫支出金			0			0		
財源	足   児 財   地	庫支出金支出金方債の他			0			0		
財源内訳	源そ	の他			0			0		
加		般 財 源						197		197
		計			0			197		197
<b>i</b>	甫助率	国県								
	助	基本額								
平成	26年度	<b>₹補正・流用</b> む	大況		平成26年	度特定財源内				
	当初	]予算		211		区分		名称		金額
		<mark>予算</mark> E第7号		145						
	11用上	□\$/万	_	145						
				_						
				-						

合 計

流用・充用

予算合計

1. 基本	情報																					
事務事	業	0108050	01010202	主	世夕 :	拟古金	十里口芒	成及び用途	仝-lin+	金の目直	7	<del>- 1</del>	車柴			担	当部	建	設	部		
⊐—l	ド	0100030	01010303	争协争	木口 1	티니네	一四四場	以及 い 用ま	₹ 16×	戦v7元巨	.し1円	L 1	ず未			担	当課	都	市	計画課		
政策	名	01	快適	で魅力あ	るまちつ	づくり										グ	ルーブ	都	市	計画グ	ルーフ	プ
施策	名	01	生活	基盤の充	実											電	話番号	45-	-5:	111		
基本事	業名	03	地域	にあった	土地利用	用の規	制·誘導	Į.								内	線番号	287	71			
予	会計	一般	会計							<del>+ *</del>		単	年度	のみ								
予 算 科 目	款	08	土木	費						事業 期間		単	年度	繰返	(開始	年度						
科	項	05	都市	計画費						79][日]		期	間限	定複	数年度	(	H21	~		H27	)	
Ħ	目	01	都市	計画総務	費				根拠	処法令・条例等	都市	計	画法									
評価区	(分		標準部	平価	評価	対象	17	火評価	関	連計画	霧島	市	都市記	計画:	マスター	プラン	/					

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 予切予末の概文(本)中のよいカーナー限、計画は出版)
市の総合計画や国土利用計画及び「都市計画マスタープラン※」に基づき、都市計画区域及び用途地域の見直しを行う。
現在の都市計画区域は国分、集人、溝辺、横川、牧園及び福山の6区域、用途地域は国分、集人、溝辺の3地域に分かれている。
すでに生活圏が形成されているまとまりのある地域をもとに、都市計画区域の設定を見直し、再編について検討を行うとともに、現状の用途地域を
はじめ用途地域以外においても建物用途の状況を把握し、土地利用の方針に適合した用途地域の見直しを行う。
尚、見直しについては、コンパクトシティの実現に向けた都市計画制度である「立地適正化計画」及び現在、事業を進めている「隼人駅東地区土地
区画整理事業」に適した計画とする。
※市町村の具体の都市計画に対して基本的な方向性を示す役割を担い、市民の意見を反映させながら都市づくりの具体的な将来像を確立し、地
※市町村の具体の都市計画に対して基本的な方向性を示す役割を担い、市民の意見を反映させながら都市づくりの具体的な将来像を確立し、地
域別のあるべき市街地像、課題に対応した整備方針、都市生活・経済活動などを支える諸施設の計画等を定めるもの。本市は平成22年3月に策
定。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	都市計画区域面積		ha	18,504	18,504	18,504	22,245	22,245
1	用途地域面積		ha	2,093	2,093	2,093	2,127	2,127
ゥ	住民等への説明回数		П	8	0	1	2	2
(2	:) 事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 推、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	都市計画区域	都市計画区域面積	ha	18,504	18,504	18,504	22,245	22,245
1	用途地域	用途地域面積	ha	2,093	2,093	2,093	2,127	2,127
ゥ								
_	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	適正に定める。	見直された都市計画区域面積	ha	0	0	0	3,741	3,741
1	適正に定める。	見直された用途地域面積	ha	0	0	0	34	34
ゥ								
(3	り上位の基本事業							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	適切な土地利用がなされる	市街地において任居地域・商業地域・工業 地域がうまく区分されていると考える市民の 割合	%	55	49	49	52	55
1	適切な土地利用がなされる	地域にあわせた土地利用がなされ、秩序ある 開発が行われていると考える市民の割合	%	39	36	36	40	45
ゥ								
	東敦東業の環接亦ル, 古民音			9/年度	25年度	26年度	27年度	20年度

# 事務事業の環境変化・市民意見等

・農業振興地域の白地地域の住民から、地域に

・農薬振興地域の日地地域の住民から、地域に あった土地利用の規制・誘導のため、早急な用 途地域の設定が望まれている。 ・都市計画区域については現在、6つの区域に 分かれて指定を行っているが、今後は「一体の 都市として絵合的に整備し、開発し及び保全す る必要がある区域」を対象に定め、ひとつの都 市計画区域に統合することを目指している。

А	100 10	<b>安</b>	on t	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ŧ	777	表現	,V) 1	<b>进刊</b> 罗			半位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	を出	金	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	Į.	<u> </u>	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	Ø	)	他	千円	0	0	11,010	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	0	4,700	0	2,878	2,878
量		事	業	費			千円	0	4,700	11,010	2,878	2,878
_												

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

#### (2)平成26年度の成果

<繰越分> 平成25年度霧島市都市計画区域決定図書等作成業務委託

平成25年度霧島市用途地域見直し検討業務委託 5,340,000円

都市計画区域の拡大に関する都市計画法の決定図書及び都市計画用 途地域の見直し(案)を作成することができた。

į		事業 ード	01080	50101010303	事 務事業名	都市計画区域及	び用途地 対事業	域の見直し検	担担	当部		設部 計画課
6.		J返り <	SEE>	•	7-76-1	'	11 7- ><		122	理由		11 四床
					事業の意図に終	結びついていますか <i>′</i>		ト画区域及び用 ぶなされる。	途地域		に定めることによ	り、適正な土地
				いている	7 2/4 27 75 75 75 74		利用が	1/IC11/0°				
A	_			いている に結びついてい	<u></u>							
目的				いていない	<u>o</u>							
目的妥当性		•= •= •=		ぜ市が行わなけ	ればならないの	のですか?	都市計	一画区域及び用	途地域	を決定	するのは地方公	共団体(県・市
性	(2)	・税金	を投入し	て達成する目的	ですか?		)であり	)、土地利用の舞	規制誘	導を行っ	ている。	
			妥当で									
L			見直す	必要がある			<b>全日</b> 12	- 441 翌田人か	<b>⊁.88</b> /₩	1 A-P	の開始が出る。	ルケトの扱います。
	3	成果が	「向上する	る余地(可能性)	はありませんだ	b\?					の理解を得ること 見することができ	
			向上す	る余地はかなり	ある							
		•	向上す	る余地はある程	度ある							
			向上す	る余地はほとん	どない							
В	4	廃止・	休止の影	/響はありません	か?		を規制	誘導し、さらに	計画を	直接的に	都市計画に沿って実現するため、	都市施設の整
B 有効	r	-	影響が	ある			――備や市	ī街地開発事業 )実現化を目指	などを	行ってい	る。廃止・休止に	こより、将来都
性			影響が	ほとんどない								
	(5)	類似の	目的(対	象・意図)又は	形態(イベントや	啓発等)を持つ他の事	務類似	以事業がある場 事務事業名等				
		事業は		んか?(市以外の 事業はない	の土体が美施する	もものを含む。)			 て都市	計画区均	域及び用途地域	の見直しを行
				<del>************************************</del>	統合マけ連進	できない		り、類似の事業				. ,
	-			事業があり、統								
	6					貴を削減できませんか? 域できませんか?	直営事			かつ効率	∞的に分担してい	るため、これ
					、市の負担を削減	咸できませんか?	以上の	削減はできない	,,°			
			削減で									
C 効率	_	= 76 d	削減で		+7-1- <del></del>	<b>史 / 7.7 シェサ マケロナ 88 ) ナ メル</b>	☆ 直労で	がかく外部に禿言	チナスプ	シにトり	コスト削減を図っ	っていろため -
性	7	) できませ	んか?	でや委託により人作		費(延べ業務時間)を削減 :せんか?		:削減できない。		201207	· MINACE	, (1 0/2°)(C
	┢		削減で									
			削減で	きる								
_	8	事務事	業の内	容が一部の受益	者に偏っている	ませんか?					ある整備・保全に り、公平性は保力	
D公平性	_	また <b>、</b> :		t <mark>担の公平性がそ</mark> 公正である	唯体されている	נים איני	AC III	た(小田川下(ご刊)	7 ) W	300 Ca)	), ATEMAN	_4 0.9°
性				必要がある								
7	1 1/1	河流針	用 /	PLAN>(組結	(中央							
<del>/ ·</del>	100		ж \г			【参考】前年度	の改革改善の	方向性≪	継	売・やりブ		<b>&gt;</b>
		務事業( )方向性		継続 	やり方改善	コスト拡充	スト縮小	連携	á	統合	休止	廃止
<u> </u>		,		0	0							
				住民の方に対し	J親切丁寧に説	色明を行い、都市計画	区域及び		<b>重しに関</b>	関する理が	解を深めていた:	だく。
		成27年										
		むべき										
				一体の都市とし ら、用途地域の		備を図るため、都市記	十画区域の	見直しを行う。る	また、市	「街地に	おける開発動向	を見極めなが
(3	)平.	成28年月	度の方									
向	性•耳	取組目標	票									
8.	23	評価結	果 (	当部長評価)								-
		務事業 <i>(</i> 向性	の改革	継続 ————————————————————————————————————	やり方改善	コスト拡充	スト縮小	連携	á	統合	休止	廃止
		7 7 1-1										
(2	) 総	評										
\ <u> </u>												

事務	事業 -ド	0108050101010303	事 務 事業名	都市記	計画	区域及び	が用途	途地域の見	直し	<b>ル検討事業</b>		旦当部 旦当課		建設部 市計画課
9. ⊐2	ストの	推移												
		(単位:千円)	平成26年	F度(	決算	<u>I)</u>		平成27年月	隻	(当初予算)		平成2	8年度	(計画)
1	報	酬								1				1111111
	<del>加</del> 給	料												
		手 当 等												
	共	済 費												
		補償費												
	賃	金					<u> </u>							
	報	賞 費				0	┢				10			4.0
	<u>旅</u> 交	<u>費</u> 際 費				0	┢				40			40
	<u>~</u> 需	<del>                                   </del>				0	$\vdash$			1	,096			1,096
''		耗品費									,000			1,000
	燃	料費												
	食	糧 費												
	_	刷製本費				0				1	,096			1,096
	_	熱水費												
	修	繕 料												
	賄	材料費					-							
	飼匠	料   費     薬材料費					-							
12	<u>  돈</u> 役	務費				0				1	,424			1,424
'*		信運搬費				0	_				,424			1,424
	広	告 料									, 12 1			1,12
	手	数料												
	保	険 料												
13	委	託 料				11,010					318			318
		及び賃借料												
		請負費												
		オ 料 費 財産購入費					-							
		M 医					┢							
		NH 八 貝     前助及び交付金					$\vdash$							
	扶	助費												
	貸	付 金												
22	補償補	填及び賠償金												
		利子及び割引料												
		及び出資金												
	<u>積</u>	立 金												
-	<u>寄</u> 公	附金課費					$\vdash$							
	<u>公</u> 繰	<u></u> 出 金												
	計	и ж				11,010				2	,878			2,878
		庫支出金				0					0			
B+ 7	守県	支 出 金				0	_				0			
源	特定材原圏県地子	方 債				0					0			
財源内訳	_	の他				11,010	_				0			
	— f	设 財 源				0	_				,878			2,878
		計				11,010				2	,878			2,878
補.	助率	里 県					$\vdash$							
補	助													
		補正·流用ŧ	 犬況			平成26年	度物	<b>持定財源内</b>	訳					
		予算		316	ſ		区分				名称			金額
	補正	予算	-10,		Ŀ	その他			繰	越金				11,010

当初予算	21,316
補正予算	-10,008
補正第7号	-10,008
流用・充用	-52
予算合計	11,256

1 1%20 T 15C 111 AC 191 MINT	***	
区分	名称	金額
その他	繰越金	11,010
	· 合 計	11,010

1. 基本	情報													
事務事	業	0100050	101010304	主	業々 ↓	小批升	川用規制等対策事	- 敦重業				担当部	建設	部
	ド	0100000	101010304	<b>尹</b> 孙尹	木口		7月	伪事未				担当課	都市	計画課
政策:	名	01	快適	で魅力あ	るまちづ	くり						グループ	都市	計画グループ
施策	名	01	生活	基盤の充	実							電話番号	0995-	-45-5111
基本事	業名	03	地域	にあった	土地利用	の規	制・誘導					内線番号	2872	
予	会計	一般	会計					± **		単年度のみ	<del>}</del>			
算	款	08	土木	費				事業期間	■.	単年度繰過	(開始年	F度		
予算科目	項	05	都市	計画費				初申		期間限定複	复数年度		~	)
目	目	01	都市	計画総務	費			根拠法令·条例等	国土利	]用計画法、	国土利用語	十画法施行令、	国土利用	用計画法施行規則
評価区	3分		簡易評	平価	評価対	寸象	1次評価	関連計画						

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国土利用計画法に基づき、土地の投機的取引及び地価の高騰が市民生活に及ぼす弊害を除去し、かつ、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、土地取引の規制に関する措置を講ずる。 一定面積以上の\*土地の売買等の取引をした場合、契約締結日を含めて2週間以内に、市町村の長を経由して県へ届出をしなければならない。市で受理後、市関係各課からの意見を集約し、県に意見進達する。また、四半期ごとに無届取引の有無を調査し、違反の疑いのある事案について、県に報告する。

※都市計画区域内 : 5,000㎡以上 、都市計画区域以外の地域 : 10,000㎡以上

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	土地売買等届出(非公表)			()	()	()	()0.2)	()4.2)
1	無届取引等把握調査(非公表)							
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的			·				
	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	土地売買等届出							
1	無届取引等							
ゥ								
_	) <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	期限内の届出							
1	届出違反者に対する指導							
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 とちにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	適切な土地利用がなされる							
1								
r)								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

近年は、太陽光発電事業計画の増加に伴い、 土地取引が増加している傾向にあり、届出件数 及び違反事案件数についても、前年を上回る増 加がみられる。

4	Television de	-	A t	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	77.7	表現	W1	田伊			<b>单</b> 位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	と出	睁	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			435	435	435
	事業費	財源内訳	地	Į.	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			2	2	2
量		哥	業	費			千円	0	0	437	437	437
_												

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

#### (1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

#### <左記の実績(取組)による成果を記載

ア)平成26年度土地売買等届出事務 適切な土地利用が図られるように市の関係課の意見を集約し、県に進 達した。

イ) 平成26年度無届取引調査・報告事務

17 千成20千度 無角取り間は、報ロ事份 無届取引の有無を調査し、違反の疑いのある事案について、県に報告 した。

ア)適正な土地利用が図られるように県を通して指導ができた。

イ) 県に届出違反の疑いがある事案の報告を行うことで、県を通じて届出 違反者に届出義務の周知ができた。

	コード	01080	50101010304	事 務 事業名	土地利用	規制等	学対策事	<b>事務事業</b>	担当担当	部課		:設部 i計画課
6.	振り返り・	<see></see>	<b>&gt;</b>							里由		
	① この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に絹	吉びついています	├か?						
		<u></u> 結びつ	いている									
습			かに結びついてい	 \る								
的显		 結びつ	いていない									
A目的妥当性	② ·この <sup>3</sup> ・税金	事業をな を投入し		 ければならないの ]ですか?	<b>のですか?</b>							
		妥当で										
		見直す	 がある									
	3 成果か	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか	)\?							
		向上す	 る余地はかなり	 Jある								
		向上す	 <sup>-</sup> る余地はある程	 星度ある								
		向上す		どない								
R	4 廃止・	 休止の景	・ 響はありません	しか?								
B有効性		影響が	 「ある									
性		影響が	 「ほとんどない									
	⑤ 類似の ⑤ 東業け	ン目的(対 なりませ	対象・意図) 又は	形態(イベントや原の主体が実施する	 啓発等)を持つ他 Sものを含む。)	の事務	類似	事業がある場 事務事業名等				
	→ 不16		事業はない	の主体が 天祀する	JOVE BO. /		Ц					
			事業はあるが、		できない							
		類似の	 )事業があり、統	合又は連携で	 きる							
			役(やり方)を工夫で付先に働きかけて		きと削減できません。 まできませんか?	か?		事業の事務に				
ŀ	- Cer m1		きない	、中の気圧と門標	% CE& E7013* .		20.20	CIENTAL PART	2 (0))(	-400/1	-111/2 CC-2-4	
Ç		削減で										
75h												
率			设(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	国土和	利用計画法に	基づく土地	取引の	情報につい	ては、一切か
<b>松率性</b>	(7) できませ	せんか?	役(やり方)を工夫で なや委託により人作			を削減	般に非	刊用計画法に 公開となってい 、件費の削減	いることによ	り外部	)情報につい 委託等は本事	ては、一切が 事業に適さな
<b>松率性</b>	(7) できませ	せんか? 以外の対応				を削減	般に非	公開となってい	いることによ	り外部	)情報につい 委託等は本輩	ては、一切が 事業に適さな
<b>%率性</b>	⑦ できませ ・職員以	toか? 以外の対応 削減で 削減で	<mark>なや委託により人作</mark> きない きる	<u>牛費を削減できま</u>	せんか?	を削減	般に非	公開となってい	いることによ	り外部	)情報につい 委託等は本!	ては、一切か 事業に適さな
	⑦ できませ ・職員リ ■ □ □ ■ □ ■ □ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	はんか? 以外の対応 削減で 削減で	<mark>なや委託により人</mark> €	牛費を削減できま ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	せんか?	を削減	般に非	公開となってい	いることによ	り外部	)情報につい 委託等は本輩	ては、一切か 事業に適さな
	⑦ できませ ・職員リ ■ □ □ ■ □ ■ □ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	はんか? 以外の対応 削減で 削減で 事業の内 受益者負	なや委託により人作 できない できる 容が一部の受益	牛費を削減できま ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	せんか?	を削減	般に非	公開となってい	いることによ	り外部	情報につい 委託等は本輩	では、一切が事業に適さな
	⑦ できませ ・職員し ■ □ □ ■ 8 事務事また、	はんか? 以外の対応 削減で 削減で 事業の内 公平・	なや委託により人作できないできる。   容が一部の受益を担の公平性が	牛費を削減できま ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	せんか?	を 削減	般に非	公開となってい	いることによ	り外部	情報につい 委託等は本3	ては、一切かま 事業に適さな
D公平性	⑦ できませ ・職員! ■ □ □ ■ ■ □ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	はんか? 以外の対応 削減で 削減で 事業の内者 受益子 見直す	なや委託により人作さない だきる 容が一部の受益 負担の公平性が行 公正である	牛費を削減できま 全者に偏っている 確保されていま	せんか?		般に非	公開となってい	いることによ	り外部	情報につい 委託等は本歌	では、一切か 事業に適さな <b>≫</b>
D公平性 7.	(7) できませ ・職員! ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	はんか? 以外の対応 削減で 削減で 引減で の内者 全 公 見直す	なや委託により人作きない ききる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である	牛費を削減できま 全者に偏っている 確保されていま	せんか?	年度の改革	般に非ため、ノ	公開となってい	いることによ	5)外部。	情報についる表記等は本語	事業に適さな
D公平性 7. 1	⑦ できませ ・職員! ■ □ □ ■ ■ □ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	th An ? th An	さや委託により人作きない できる 容が一部の受益 負担の公平性が 公正である 一必要がある	件費を削減できま 全者に偏っている 確保されていま	せんか? ませんか? すか? 【参考】前	年度の改革	般に非ため、ノ	公開となってい 人件費の削減の 「向性≪	<b>いることによ</b>	5)外部。	委託等は本*	事業に適さな
D公平性 7. 1	① できませ、 ・職員! ■ □ □ ■ □ ■ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	th An ? th An	さや委託により人作きない きさる 容が一部の受益 担担の公平性が 公正である ・必要がある PLAN>(組織 継続	株費を削減できま  を者に偏っている  確保されていま  やり方改善  の意見進達及・	せんか? ませんか? すか? 【参考】前	年度の改革コスト	般に非人	公開となってい、 人件費の削減 直機 連携	へることによ まできない 統合	。)	<b>休止</b>	事業に適さな
7. (1) 善 (2)	(7) できませ。 ・職員! ■ □ □ ■ □ ■ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	は外のの対域では、大学ができる。 はいかの 対域 はい	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 類担の公平性が 公正である 一必要がある PLAN>(組織 継続 〇 受付から県へ	株費を削減できま  を者に偏っている  確保されていま  やり方改善  の意見進達及・	せんか? ませんか? すか? 【参考】前 コスト拡充 び報告までの事	年度の改革コスト	般に非人	公開となってい、 人件費の削減 直機 連携	へることによ まできない 統合	。)	<b>休止</b>	事業に適さな
7. (1)善(2)改	(7) できませ。 ・職員! ■ □ □ ■ □ ■ □ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	はんか?対応 削削 減 で 明	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 類担の公平性が 公正である 一必要がある PLAN>(組織 継続 〇 受付から県へ	株費を削減できま  株者に偏っていま  株者に偏っていま  株子のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	せんか? ませんか? すか? 【参考】前 コスト拡充 び報告までの事	年度の改革コスト	般に非人	公開となってい、 人件費の削減 直機 連携	へることによ まできない 統合	。)	<b>休止</b>	事業に適さな
7. (1)善(2)改	(7) できませい できませい できませい できませい できませい 事また、 □ □ 1 次評価報 事また、 □ □ 本務 事 の 方 向 性 平 巻 の 内 の 内 で と で と で と で と で と で と で と で と で と で	はんか?対応 削削 減 で 明	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 類担の公平性が 公正である 一必要がある PLAN>(組織 継続 〇 受付から県へ	株費を削減できま  株者に偏っていま  株者に偏っていま  株子のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	せんか? ませんか? すか? 【参考】前 コスト拡充 び報告までの事	年度の改革コスト	般に非人	公開となってい、 人件費の削減 直機 連携	へることによ まできない 統合	。)	<b>休止</b>	事業に適さな
7. (1)善(2)改	(7) できませい できませい できませい できませい できませい 事また、 □ □ 1 次評価報 事また、 □ □ 本務 事 の 方 向 性 平 巻 の 内 の 内 で と で と で と で と で と で と で と で と で と で	はんか?対応 削削 減 で 明	<ul> <li>なや委託により人作きない</li> <li>きる</li> <li>容が一部の受益 担の公平性が 公正である</li> <li>必要がある</li> <li>PLAN&gt;(組輸 継続</li> <li>〇 受けから県へ (世里土利用計画</li> <li>受付から県へ</li> </ul>	中費を削減できま  全者に偏っていま  では、これていま  では、これでいま  の意見進達及・ の意見進達及・ にする。  の意見進達及・ の意見進達及・	せんか? ませんか? すか? 【参考】前 コスト拡充 び報告までの事	年度の改	般に非人のない。	公開となってい 人件費の削減 連携 率化を図るとと	・ることによ は な き な た 、 台 帳	り外部の整備	休止 を行い、件数	▶ 廃止 枚や内容が容
7. (1)善(2)或取(2)或取(2)或取(2)或取(2)或取(2)或取(2)或取(2)或取	(7) できましまできましま。 ■ □ ■ □ 事務た、 □ □ ■ □ 事また、 □ □ ■ □ 事また、 □ □ □ 事また、 □ □ □ □ 平価報 事の方向性 □ 平成27年容もり組むできませます。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	は外のの対域では、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないでは、まないでは、ま	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 負担の公平性が 公正である 一必要がある PLAN>(組織 継続 〇 受付からきる様 に担土利用計画	中費を削減できま  全者に偏っていま  では、これていま  では、これでいま  の意見進達及・ の意見進達及・ にする。  の意見進達及・ の意見進達及・	せんか?  ませんか?  すか?  「すか?  コスト拡充  び報告までの事  の周知を図る。	年度の改	般に非人のない。	公開となってい 人件費の削減 連携 率化を図るとと	・ることによ は な き な た 、 台 帳	り外部の整備	休止 を行い、件数	▶ 廃止 数や内容が名
7. (1)善(2)改取(3)	(7) できませい できませい できませい できませい できませい 事また、 □ □ 1 次評価報 事また、 □ □ 本務 事 の 方 向 性 平 巻 の 内 の 内 で と で と で と で と で と で と で と で と で と で	は外のの対域である。	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 負担の公平性が 公正である 一必要がある PLAN>(組織 継続 〇 受付からきる様 に担土利用計画	株費を削減できま  株者に偏っていま  株者に偏っていま  株子の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及	せんか?  ませんか?  すか?  「すか?  「スト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事	年度の改	般に非人のない。	公開となってい 人件費の削減 連携 率化を図るとと	・ることによ は な き な た 、 台 帳	り外部の整備	休止 を行い、件数	▶ 廃止 数や内容が名
7. (1)善(2)改取(3)	(7) できませい できませい できませい できませい できませい 事また、 □ □ 事務た、 □ □ 事務た、 □ □ 事か 事か 事か では できませい 事務 事か では 事務 事か では できませい 事務 では 事務 できませい また できませい 事務 できませい また できまた また できまた また できまた また できまた こうしょう しゅう こうしょう しゅう こうしょう こう こうしょう こうしょう こう	は外のの対域である。	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 負担の公平性が 公正である 一必要がある PLAN>(組織 継続 〇 受付からきる様 に担土利用計画	株費を削減できま  株者に偏っていま  株者に偏っていま  株子の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及	せんか?  ませんか?  すか?  「すか?  「スト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事	年度の改	般に非人のない。	公開となってい 人件費の削減 連携 率化を図るとと	・ることによ は な き な た 、 台 帳	り外部の整備	休止 を行い、件数	▶ 廃止 数や内容が名
7. (1)善(2)改 (2)改 (3)性	(7) でき職 ■ □ 事また。 □ □ 本語のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	は外がの対域で、内骨・では、大のの対域が、で、内骨・では、大のの対域が、で、内骨・では、大ので、関係を対し、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 負担の公平性が 公正である 一必要がある PLAN>(組織 継続 〇 受付からきる様 に担土利用計画	株費を削減できま  株者に偏っていま  株者に偏っていま  株子の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及	せんか?  ませんか?  すか?  「すか?  「スト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事	年度の改	般に非人のない。	公開となってい 人件費の削減 連携 率化を図るとと	・ることによ は な き な た 、 台 帳	り外部の整備	休止 を行い、件数	▶ 廃止 数や内容が名
7. (1)善(2)改明(3)性(3)性(3)性(3)性(3)性(3)性(3)性(3)性(3)性(3)性	(7) できませい できませい できませい できませい できませい 事また、 □ □ 事務た、 □ □ 事務た、 □ □ 事か 事か 事か では できませい 事務 事か では 事務 事か では できませい 事務 では 事務 できませい また できませい 事務 できませい また できまた また できまた また できまた また できまた こうしょう しゅう こうしょう しゅう こうしょう こう こうしょう こうしょう こう	は外がの対域で、内骨・では、大のの対域が、で、内骨・では、大のの対域が、で、内骨・では、大ので、関係を対し、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので、大ので	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 負担の公平性が 公正である 一必要がある PLAN>(組織 継続 〇 受付からきる様 に担土利用計画	株費を削減できま  株者に偏っていま  株者に偏っていま  株子の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及	せんか?  ませんか?  すか?  「すか?  「スト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事	年度の改	般に非人のない。	公開となってい 人件費の削減 連携 率化を図るとと	・ることによ は な き な た 、 台 帳	り外部の整備	休止 を行い、件数	▶ 廃止 枚や内容が容
7. 1) 善 (2) 改 (3) 性 (3) 性 (3) 性 (3) 性 (1)	(ア) でき職 ■ □	は外が削削業益公見果ので、大きのの、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たら	なや委託により人作きない きる 容が一部の受益 担の公平性が 公正である ・必要がある PLAN>(組織 登世握工利用計画 受付をで用まる。 でのきき計画 でがして、 でのできます。	株費を削減できま  株者に偏っていま  株者に偏っていま  株子の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及  の意見進達及	せんか?  ませんか?  すか?  「すか?  「スト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事	<b>年度の改</b> コスト 務の簡単	般に非人のない。	公開となってい 人件費の削減 連携 率化を図るとと	・ることによ は な き な た 、 台 帳	り外部の整備	休止 を行い、件数	▶ 廃止 枚や内容が容
7. (1)善 (2) 改 (2) 以 (1) (2) 以 (2) 以 (1)	(7) でき職 ■ □ 事務た、□ □ 事また、□ □ 事また、□ □ 事また、□ □ 本務た、□ □ 本務た。□ □ 本 □ □ 本 □ 本 □ □ 本 □ □ 本 □ □ 本 □ □ 本 □	は外が削削業益公見果ので、大きのの、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たら	なや委託により人作きない ききる 容が一部の受益がの公平性が 公正である ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	株費を削減できま を者に偏っていま 確保されていま の意見進達及・ にする。 がは、出義務	せんか?  ませんか?  すか?  【参考】  コスト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事  の周知を図る。	<b>年度の改</b> コスト 務の簡単	般たが、クラスを表現しています。	公開となってい、 大件費の削減は 連携 率化を図るとと	*ることによいない***********************************	り外部の整備	<b>休止</b> を行い、件数	事業に適さな 廃止 数や内容がを
7. (1)善 (2) 改 (2) 以 (1) (2) 以 (2) 以 (1)	(ア) でき職 ■ □	は外が削削業益公見果ので、大きのの、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たら	なや委託により人作きない ききる 容が一部の受益がの公平性が 公正である ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	株費を削減できま を者に偏っていま 確保されていま の意見進達及・ にする。 がは、出義務	せんか?  ませんか?  すか?  【参考】  コスト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事  の周知を図る。	<b>年度の改</b> コスト 務の簡単	般たが、クラスを表現しています。	公開となってい、 大件費の削減は 連携 率化を図るとと	*ることによいない***********************************	り外部の整備	<b>休止</b> を行い、件数	事業に適さな 廃止 数や内容がを
7. (1) 差 (2革取) (3) 性 8. (2) (3) 性	(ア) でき職 ■ □ 務た、 □ 水評価 業性 事また □ □ を表示、 □ □ を表示。 □ □ を表示、 □ □ を表示。 □ □ □ を表示。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	は外が削削業益公見果ので、大きのの、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たら	なや委託により人作きない ききる 容が一部の受益がの公平性が 公正である ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	株費を削減できま を者に偏っていま 確保されていま の意見進達及・ にする。 がは、出義務	せんか?  ませんか?  すか?  【参考】  コスト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事  の周知を図る。	<b>年度の改</b> コスト 務の簡単	般たが、クラスを表現しています。	公開となってい、 大件費の削減は 連携 率化を図るとと	*ることによいない***********************************	り外部の整備	<b>休止</b> を行い、件数	事業に適さな 廃止 数や内容がを
<b>D公平性</b> 7. (1) 差 (2 革 取 (3) 性 8. 2 (1) 差	(ア) でき職 ■ □	は外が削削業益公見果ので、大きのの、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たら	なや委託により人作きない ききる 容が一部の受益がの公平性が 公正である ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	株費を削減できま を者に偏っていま 確保されていま の意見進達及・ にする。 がは、出義務	せんか?  ませんか?  すか?  【参考】  コスト拡充  び報告までの事  の周知を図る。  び報告までの事  の周知を図る。	<b>年度の改</b> コスト 務の簡単	般たが、クラスを表現しています。	公開となってい、 大件費の削減は 連携 率化を図るとと	*ることによいない。	り外部の整備	<b>休止</b> を行い、件数	事業に適さな 廃止 数や内容がを

事務事業の	08050101010304	事 務事業名	:	土地利用規	見制等対策事	务事業	担当部担当部		建設部
9. コストの推	移								
()	単位:千円)	平成26年月	度(決	算)	平成27年	度(当初予算)	)	平成28年月	度 (計画)
1 報	酬								
2 給	料								
3 職員	手 当 等 済 費								
4 共 5 災害									
<u>7</u> 賃	金								
8 報	償 費								
9 旅	費								
	<u></u> 際 費 用 費			201			384		38
	用 <u>負</u> 耗品費			384 292			292		29
燃燃	料費			92			92		
食	糧 費								
	製本費								
	<ul><li>熱水費</li><li>繕料</li></ul>								
<u>修</u> 賄 ね	繕 料 材 料 費								
飼	料費								
	延材料費								
	務費			53			53		į
	運搬費			53			53		
<u>広</u> 手	告   料     数   料								
保	険 料								
	託 料								
	ひ賃借料								
15 工事	請負費 料費								
	だい 日本 産購入費								
18 備品									
19 負担金補助	<b>协及び交付金</b>								
	助費								
	付金								
	及び賠償金 子及び割引料								
	び出資金								
	立 金								
	附 金								
	課 費 出 金								
20 標	<u> </u>			437			437		4;
	支出金			0			0		
[ ] [ ]	支 出 金			435			435		4;
特定財源内訳	方 債			0			0		
内 訳 一 般	の 財 源			2			2		
	計			437			437		4;
	国			201					
補助率	県								
	本額								
平成26年度神					度特定財源内	訳	<b>5</b> TL		A +=
当初予 補正予		37	0	県支出金	区分	土地利用規制	名称 I 生計策費	<b></b>	<b>金額</b> 43
作用正丁	TH THE			不入山並		工地们用规制	刊州東	入门亚	4,
			_						

当初予算	370
補正予算	0
流用・充用	67
予算合計	437

370	区分	名称	金額
0	県支出金	土地利用規制等対策費交付金	435
67			
437		合 計	435
	-		

1. 基本	情報										
事務事	業	01080501	01010401	主	業々 浩	一一一	号物除却及び放	器白起电池	(回車数車業	担当部	建設部
<u>П</u>	ド	01000001	01010101	争协争	木石   连		が一方が入し、次	直日料年四	20 学份学术	担当課	都市計画課
政策:	名	01	快適		グループ	都市計画グループ					
施策	名	01	生活	基盤の充	実					電話番号	45-5111
基本事	業名	04	景観	の保全と	整備	内線番号	2873				
予	会計	一般	会計					± ₩	□ 単年度のみ		
算	款	08	土木?	費				事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>生</sup>	F度 H	20 年度~)
予算科目	項	05	都市	計画費				初申	□ 期間限定複数年度	(	~ )
Ħ	目	01	都市	計画総務	費			根拠法令·条例等	屋外広告物法 ほか		
1111年111日	<del>7</del> 分		<b>遷淮</b> 到	E/III	証価分	+ 免	1 次 証 価	関連計画			

## 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

公共の場所に無断設置された屋外広告物や放置された自転車等は、良好な景観を阻害するだけでなく、安全な通行の妨げとなる危険性があることから、これらの広告物(はり紙、はり札、のぼり旗、立看板)及び放置自転車等を定期的な巡回により発見し、指導及び除却を行う。これらの事業については、事業者と年間業務委託契約を結び行っている。
■指導及び除却の流れ

※回実施→違反広告物・放置自転車等の発見→撤去警告シール(広告物)・指導書(放置自転車等)の貼付 →警告シール等に記載した撤去期限日を超過した広告物・放置自転車等の除却及び保管→告示実施 →保管期間を経過した広告物・放置自転車等の廃棄等

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	巡回を行った日数		目			77	77	77
1	除却した違反広告物件数		件			2,379	3,400	3,200
ゥ	撤去した放置自転車等台数		台			64	60	55
(2	2)事務事業の目的							
_	対象 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	違反広告物	除却した違反広告物件数	件			2,379	3,400	3,200
1	放置自転車等	撤去した放置自転車等台数	台			64	60	55
ゥ								
<b>4</b>	<b>意図</b>   ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	除却し、良好な景観及び通行の安全 を確保する。	除却した違反広告物件数	件			2,379	3,400	3,200
1	撤去し、良好な景観及び通行の安全 を確保する。	撤去した放置自転車等台数	台			64	60	55
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ぶらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	歴史的な景観や自然景観が守られる。	歴史的な景観や自然景観が守られていると 考える市民の割合	%	71.7	68.3	68	72	73
1	地域にあった景観が創られる。	歴史的な景観や自然景観が守られていると 考える市民の割合	%	71.7	68.3	68	72	73
ゥ								

## 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

平成20年度から屋外広告物法及び霧島市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例に基づき、事務事業を実施している。 放置自転車等については、ほぼ横ばいで推移しているが、違反広告物は民間の経済活動(マンション分譲に係るはり札、消費者金融のはり紙等)により大きく除却件数が増減している。

A	nder di	<b>*</b>	a t	444			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度						
+	777		しつ打圧化タ		費の推移				1197		の対比が		中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	を出	睁	千円			0	0	0						
	事財県支出金			金	千円			0	0	0								
	尹   酒		債	千円			0	0	0									
	費	訳	そ	0	0	他	千円			1,312	2,300	2,300						
投入量			_	般	財	源	千円			0	-977	-977						
量		事	業	費			千円	0	0	1,312	1,323	1,323						
_																		
	,																	

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

<取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果 (1)平成26年度の実績(取組)

<左記の実績(取組)による成果を記載

巡回パトロール実施日数 77日 違反広告物除却件数 2,379件 放置自転車等撤去台数 64台

違反広告物除却件数については、ピーク時の2割弱程度となっており、 本事業により違反広告物の大幅な減少につながった。また、違反広告物 及び放置自転車の定期的な除却により良好な景観が保たれた。

특	事務:	事業 -ド	01080	50101010401	事務事業名	違反広告物図 	余却及 事務		自転車巡回		<u>当 郡</u> 当 課		設部 計画課		
6		-	SEE>		于水口		7-10	<u> </u>		ഥ	理由		可四环		
					事業の意図に総	おびついています	ነ				を撤去し	、良好な景観			
					1- NC 4- NC 1-14	10 10 00 00 00 00		がにあ	った景観が創	といるこ	京観や日とに結び	A 京観かずり べつく。	れること及び地		
A	□ 間接 U S M M M M M M M M M M M M M M M M M M		いている 」に結びついてい	\ Z											
目的妥当性	_			いていない	<u>'</u>										
妥当					わばならないの	Dですか?		違反広	告物の除却及	び放置	自転車等	等の撤去により	、良好な景観や		
性	(2)	•税金	を投入し	て達成する目的	ですか?	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						fうべき役割でa			
			妥当で	:ある 											
			見直す	必要がある				V === E	1 1 1/4 1 . 2 . 3 . 3	m 2. 7:		- 10 W. 75 (V -			
	3	成果が	「向上する	る余地(可能性)	はありませんか	٧?		必要最 ことは 2	:少人数によるだ 因難であるため	巡回を作、成果7	Tっている が向上す	るが、業務従事 る余地はほと/	人員を増やす しどない。		
			向上す	る余地はかなり	ある										
			向上す	る余地はある程	度ある										
			向上す	る余地はほとん	どない										
R	4	廃止・	休止の影	5響はありません	か?				告物及び放置 美化への影響			福に増加するこ	ととなり、市内		
B有効性		_	影響が	 「ある				77(19)	ocia wao a	W ) (C	. 0				
性	_			 「ほとんどない											
	<b>6</b>	類似の	)目的(対	対象・意図)又は	形態(イベントや)	啓発等)を持つ他(	の事務	類似	事業がある場						
	9	サ木は			の主体が実施する	ものを含む。)			事務事業名等	良市白	起事等(	の投票は止及れ	<b>ぶ適正な処理に</b>		
				事業はない	/+ ^ ¬ , L) = ++							似事業は無い			
				事業はあるが、											
	_			)事業があり、統			th 2	必要最	・少人数の従事	者によ	ろ委託契	!約を行っており	)、削減はできな		
	6	•補助金	など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	域できませんか?	75 :	い。	.5 7 (3)( 1- 1)( 1-	Д (-00	J X 11 1 1		V 1111/2/100 C C D		
			削減で	きない											
C 効			削減で	きる				-la alle le			·		and it alls in a		
率性	7	できませ	しんか?			関(延べ業務時間)を	上削減		と委託契約を行ているため、削			は基本的に事	・務作業のみを		
	_				干質を削減できま	せんか?									
	_														
	<u></u>			でる <mark>容が一部の受益</mark>	者に偏っている	ませんか?		良好な	景観や通行の	安全に	は公共性	生があることから	、公平性は確		
D 公	8)	また、	受益者負	担の公平性が	確保されていま	すか?		保され	ている。						
公平性				公正である											
			見直す	必要がある											
7.	1次	評価結	果 <f< th=""><th>PLAN&gt;(組織</th><th>決定)</th><th>【参考】前:</th><th>年度の改</th><th>革改善のフ</th><th>方向性≪</th><th></th><th></th><th></th><th>&gt;</th></f<>	PLAN>(組織	決定)	【参考】前:	年度の改	革改善のフ	方向性≪				>		
(1)	) 事系	終事業(	か改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	·縮小	連携	糸	 充合	休止	廃止		
				0	0										
						  、ピーク時に比載									
(2)	) 亚 F	式97年 F	金の金	が大きな原因と	して考えられる	部の設置業者が ため、今後は現場	犬の定期	朗巡回に							
革	收善	の内容		に遅反広告物を	ど設直する兼有	等への指導も必	要である	<b>్</b>							
ЦАХ	ソルロ	10.	环烃/												
				定期巡回による	除却作業を継	続して行うとともに	- 啓発	活動及	び条例等を守る	うさいー	-部の設	置業者等への	<b>岩道を給計する</b>		
				0	71777 71171	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , ,		0 7,000 0 0 0		H1 . 154		11.000,770		
1.31	,	X111 1/	.,,												
8.	<b>2次</b>	評価結	果(担	当部長評価)											
				継続	ムリナー・ギ			<b>%</b> □ .1.	\± #+		* ^	休止	廃止		
		務事業の 向性	の改革	41± 420	やり方改善	コスト拡充	17/	·縮小	連携	ň	充合	F1-22	,,,,,,,,		
										<u> </u>		]			
(2)	)総	評													

\_\_\_\_

	条事業 一ド	0108050101010401	事務事業名	建反広台	<b></b>	び放置自転車	······································	担当部	建設部
		14.7h	争未石					担当課	都市計画課
9. =	ストの	)推移						1	
		(単位:千円)	平成26年原	度 (決	算)	平成27年	度 (当初予算)	平成28:	年度 (計画)
1	報	柵							
2	給	料							
3	職員	員手当等							
4	共	済 費							
5	災日	害補償費							
7	賃	金							
8	報	償 費							
9	旅	費							
10	<u>交</u>	際費							
11	需	用費			36		(	)	0
	_	月 耗 品 費 							
	燃								
	Í	₹ 程 貸_ 〕刷製本費			36				
	년 커				30				
	値								
	Į.								
	館								
12	役	務費			50		(		0
		<b>通信運搬費</b>							
	戊	告 料							
	手	整数料			50				
	㑇	民 険 料							
13	委	託 料			1,226		1,323	3	1,323
14		料及び賃借料							
15		事請負費							
16		材 料 費							
17		財産購入費							
18		品購入費							
19		対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対							
20	扶	助費							
21	貸端偿益	付金 構填及び賠償金							
23		計算及び知慎並 注利子及び割引料							
24		及び出資金							
25		立 金							
26	寄	 附 金							
27	公	課費							
28	繰	出 金							
	計				1,312		1,323	3	1,323
	特垣	庫支出金			0		(	)	
財	定児				0		(		
財源内訳	特定財源				0		(		
内訳	1.0				1,312		2,300		2,300
шх	_	般 財源			0		-977		-977
		計			1,312		1,323	3	1,323
*	甫助率	国							
	助	県							
			h 100				Sen.		
平成		度補正·流用∜				度特定財源内		_	^ +=
		切予算	1,22	_		区分	<b>名</b> 科		金額
	伸」	E予算		0	その他		屋外広告物許可申	育于奴科	1,312

当初予算	1,227
補正予算	0
流用・充用	87
予算合計	1,314

区分	名称	金額
その他	屋外広告物許可申請手数料	1,312
	合 計	1,312

1. 基本	情報													
事務事	業	0100050	101010402	主	<b>坐夕</b> 往记	t> 7, I	環境整備事業(	<b>协周</b> • 卓 壬 趙	i #h   マ )	担当部	建設	:部		
⊐	ド	0100000	101010402	中小中	木口 闰/	ノイヘント	<sup>保児</sup> 田 甲未 (	区图 同 1 位	()	担当課	3当課 都市計画課			
政策:	快適		グループ	都市	整備グ	ループ								
施策	名	01	生活	基盤の充	実				<b>電話番号</b> 45-5111					
基本事	業名	04	景観の	の保全と	整備					内線番号	2881			
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ					
算	款	08	土木	費				事業 期間	□ 単年度繰返 (開始年	三度				
予 算 科 目	項	05	都市	計画費				20111	■ 期間限定複数年度(	H8	~	H26	)	
目	目	01	都市	計画総務	費			根拠法令·条例等	霧島市まちづくり要綱					
評価区	公分		簡易評	2価	評価対象	象	1次評価	関連計画	高千穂地区街なみ環境整備事業整備方針等					

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <D<sub>0</sub>>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

鹿児島県の「霧島国際芸術の森」基本構想に基づく、高千穂地区の国道223号道路拡幅改良事業の着手をきっかけに、公共施設(国道、県道、 市道の歩道、公園、消火栓)の整備、国立公園のイメージカラーを用いた住宅の修景整備等を行い、地域の特性を活かした魅力ある街なみ整備を 行う。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	修景助成		件	24	7	-		
1	歩道美装化工事		m	_	370	-	_	
ゥ	通路整備事業		m	50	-	-	_	
(2	2)事務事業の目的							
_	対象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	牧園町高千穂地区							
1								
ゥ								
_	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	良好な街なみが形成される							
1								
ゥ								
	3)上位の基本事業							
	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	歴史的な景観や自然景観が守られる							
1	地域にあった景観が創られる							
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

事業を行うにあたり、地元説明会を開催。 地元 からの要望は、整備後の維持管理について地 元負担の軽減を強く要望されている。 議会などからの意見は特になし。

1	nter d	* 曲	on t	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	R IR	,V) 1	进物			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
		国庫支出金				金	千円	13,355	14,868	0	0	0
	事		県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	13,965	17,257	2,092	0	0
量		哥	業	費			千円	27,320	32,125	2,092	0	0
_												
	'											

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

●事業期間平成10~25年度に実施した高千穂地区街なみ環境整備事業について、地区住民の住環境に対する価値観を調査し事業効果の分析・評価の結果、事業効果があることが分かった。 ・評価を行った。

Ħ.	事務	事業 ド	01080	50101010402	事務事業名	街なみ環境整	整備事		園·高千穂地	担当部担当部		設部 計画課
6.		-	<see></see>	•	予不口		<u> </u>	.,		理日		計画味
<u>.                                    </u>					事業の音図に終	古びついています	かっ					
				いている			<i>~</i> .					
A				いている  ]に結びついてし	<u> </u>							
目的				いていない	<u>'</u>							
A目的妥当性				ル・しいない <u></u> ぜ市が行わなけ	 ればならないの	 Dですか?	_					
性	(2)			て達成する目的								
			妥当で									
			見直す	必要がある	_	_			_	_		
	3	成果が	「向上す	る余地(可能性)	はありませんか	٧?						
			向上す	る余地はかなり	ある							
			向上す	る余地はある程	建度ある							
			向上す	る余地はほとん	どない							
Ŗ	4	廃止•	休止の影	/響はありません	<b>か?</b>							
B有効性			影響が	 「ある								
性			影響が	「ほとんどない								
	5			対象・意図) 又は たんか?(市以外の		啓発等)を持つ他(	の事務	類似	事業がある場 事務事業名等			
		一		事業はない	の主体が天祀する	0002 2000		100	+ 100 + X 11 47			
				事業はあるが、	統合又は連携	できない						
				事業があり、統								
	6	-事務事	業の手具	殳(やり方)を工夫	することで、事業費	を削減できません ずできませんか?	か?	平成2	5年度完了事業	美の検証を実施 の検証を実施	施した年度であった。	って、平成26年
		●無明宝		きない	、中の負担を削減	<b>感できませんか?</b>		したエ	事等については	は、仕様・工法	乗賃は完生しな 等の見直しを随 上の削減はでき	いが、市の実施時行い、よりコス
С		_	削減で					た。	□ D C ( D) S	, J C, C400A	LV/HIPAIA CC	- AV 1/V/V/C C (A) J
C 効率					することで、人件者	貴(延べ業務時間)を	を削減 かんしん	平成2	5年度完了事業	美の検証を実施	をした年度であっ	って、平成26年
性	7	できませ	とんか?	むや委託により人作				度事業者との	完了した。よっ 協議等の主要な	て、今後事業等	実施しないが、は 戦員が行う必要	地域住民や関係 があり嘱託職員
			削減で	きない				や委託	はできないため	、人件費の削	減はできなかっ	た。
			削減で	きる								
D	8			容が一部の受益 負担の公平性が								
D公平性				公正である								
性			見直す	 <sup>-</sup> 必要がある								
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組績	<b>赴決定</b> )					継続		>
				継続		[参考]前:					休止	廃止
		务事業( 方向性	の改革	THE HOL	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	<u>連携</u>	統合	bly III	<b> </b>
				事業完了。								
				<b>学</b> 未元 1。								
革	女善(	の内容										
[(取	り組	むべき	·課題)									
				+***	. 2-							
				事業完了をし	対効果の分析を	実施するなど、= 展開へ参考とし	スト上	昇は否め	ないが、事業に	こ関する分析を	を他事業でも実	施するなどし、
(3)	平原	<b>艾28年</b> 月	度の方	7 後の他争表(	こういての事末		(1.91	_v ' <sub>o</sub>				
[P] ])	土 • 均〉	組目相	示									
8	2次 2次	評価結	<b>果</b> (非	当部長評価)								
				継続	14:14:14			65 J	\ <del>+</del> 1#	fort A	- <sub>休止</sub>	廃止
(1) 改書	事務	务事業( 向性	の改革	中生 4万€	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	<u>連携</u>	統合	WIL	光工
(2)	総	評										
, = /												

	条事業 一ド	0108050101010402	事務事業名	街なる	み環境整備	事業(牧園·高	千穂地区)		当部当課		設部 計画課
9. =	コストの	推移									
		(単位:千円)	平成26年	度 (決	篁)	平成27年月	度 (当初予算)		平成	28年度 (	計画)
1	報		1 770=0 1	~ (//	- JI- /	1 770= 7 1 75	~ (= 13 1 3+7		1 //	V=0 1 /2 ·	
2	 給										
3		手当等									
4	共 "	済費									
7	<u>災</u> = 賃	子補 償 費 金									
8	報										
9	旅	費									
10	<u>交</u> 需	際   費     用   費			140			0			0
''		<u>用 员</u> 耗品費			140						0
	燃	料 費									
	食										
		刷製本費 熱 水 費						_			
	修				140						
		材料費									
	飼	料費									
12		条 M 科 負 務 費			0			0			0
		信運搬費									
	広										
	手保										
13	\体 委	険料     託料			1,952			0			
14		料及び賃借料			1,002						
15		請負費									
16		材 料 費 財産購入費									
18		。 は購入費									
19	負担金	補助及び交付金									
20	扶	助費									
21		付 金 i填及び賠償金									
23		利子及び割引料									
24		及び出資金									
25	積	立金									
26 27	<u>寄</u> 公	附   金     課   費									
28	繰	出金									
	計				2,092			0			0
	特區	庫支出金 支出金			0			0			
財源	財地	方 債			0			0			
財源内訳		の他			0			0			
אם	<u> </u>	般 財源			2,092			0			
		計国			2,092			0			0
<b>_</b> ₹	甫助率	県				<u> </u>					
補	助	基本額									
平成		E補正•流用も				度特定財源内					A +T
	当初	]予算 予算	2,	000		区分		名称			<b>金額</b> 0
	.LHI TT	- J' <del>JT</del>									0
				-							
				$\dashv$							
				_							

合 計

流用・充用 予算合計 150 2,150

1. 基本	情報									
事務事	業	0100050	101010403	主	業名 景観:	<b></b>			担当部	建設部
<b>⊐</b> —	ド	0100030	101010103	<b>学</b> 加サス	<b>大口</b>	///以ず未			担当課	都市計画課
政策:	名	01	快適	で魅力ある	うまちづくり				グループ	都市計画グループ
施策	名	01	生活	基盤の充乳	<b></b>				電話番号	45-5111
基本事	業名	04	景観	の保全と整	<b>E</b> 備				内線番号	2873
予	会計	一般	会計				<del></del>	□ 単年度のみ		
算	款	08	土木	費			事業期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>4</sup>	F度 H	25 年度~)
予算科目	項	05	都市	計画費			2011EI	□ 期間限定複数年度	(	~ )
目	目	01	都市	計画総務	費		根拠法令·条例等	景観法•霧島市景観条例		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7分		標准部	平価	評価対象	1次評価	関連計画	霧鳥市暑観計画・霧鳥市	都市計画マス	タープラン

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(1) 予切・不び似文(大呼のは、ソカ、ナーは、トルロとにと) 霧島市は、景観法に基づく景観行政団体として霧島市景観計画を策定し、本市の特性を活かした良好な景観の保全や、新たな景観形成に向けた 取組を推進し、より一層魅力的で活力ある「霧島市ならでは」のまちづくりを目指している。一定の規模を超える行為について着手の30日前までに 届出が必要であり、届出に対して、周辺の景観に配慮されているか審査及び適否の判定を行う。また、景観形成に関する事項について調査・審議 を行うため、外部の委員による景観審議会を設置している。 景観まちづくりにおいては、住民・事業者・行政が協働して推進するため、「景観整備機構※」を活用して普及啓発活動を行う。(例: 鹿児島県建築 士会と連携し、地域の小学生を対象として開催するまちなみウォッチング等) ※ 景観整備機構は、景観法に基づく制度で、民間団体や市民による自発的な景観の保全・整備の一層の推進を図る観点から、一定の景観の保 全・整備能力を有する公益法人又はNPO法人について、景観行政団体の長が指定し、良好な景観形成を担う主体として位置づける制度。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	景観法及び霧島市景観条例に基づく履	届出件数	件		106	97	100	100
1	景観審議会の開催		□		1	0	3	3
ゥ	景観に関するイベント		口		0	1	1	2
(2	2) 事務事業の目的							
_	対象 維、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	市民	ДП	人		127,283	126,773	129,360	129,679
1	建築物や開発行為等	景観法及び霧島市景観条例に基づく届出件 数	件		106	97	100	100
ゥ								
_	・ <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	景観計画の目的を理解し、市等と協働で 景観に配慮したまちづくりを進めてもらう	イベント等の参加者数	人		9	30	40	60
1	景観に配慮したものとなる	指導件数	件		0	0	0	0
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
<b>6</b>	基本事業の意図 ぶらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	歴史的な景観や自然景観が守られる	歴史的な景観や自然景観が守られていると 考える市民の割合	%	71.7	68.3	68	72	73
1	地域にあった景観が創られる	歴史的な景観や自然景観が守られていると 考える市民の割合	%	71.7	68.3	68	72	73
ゥ								
3.	事務事業の環境変化・市民意	見等 4. 事業費の推移	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度

平成16年度に景観法が施行され、その中で良好な景観の形成の促進に関し、地方自治体の担うべき責務が定義された。それを踏まえ霧島市は、平成18年12月に景観計画を定めることのできる景観行政団体となった。平成24年7月霧島市景観条例が告示され、同年9月に景観計画を策定した。平成25年4月1日より一定の行為について、届出が必要となった。

が必要となった。

4.	争,		(U) f	住移			単位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	0	52	5	172	172
投入量		事	業	費			千円	0	52	5	172	172
Γ												
									•			

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

#### (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載

景観法第16条及び霧島市景観条例第8条に基づく届出数 97件 まちなみウォッチング(大隅横川駅周辺地区)参加者数 30人

届出により、建築物の色彩や開発行為における緑化の確保などの指導を 届山により、建築物の色彩や開発行為におりる終化の確保などの指導を 行うことができ、景観が保たれた。 地域の歴史に詳しい講師を招き、地元小学生を対象としたまちなみウォッ チングを行ったことにより、地域の景観や歴史に関する啓発を行うことが でき、開催後のアンケートでも好評を得た。

=		事業	01080	50101010403	事務		景観形	成事業	:	担	当	部		设部
					事業名		33C 140G 712	7% <del>-</del> 7		担	当	課	都市	計画課
6.		返り <						市民や	事業者が、景観	見計画	<b>理</b> 及び	由 景観 ②	条例の理解を	深め、市等と協
	(1)	この事	務事業(	の目的は、基本語	事業の意図に約	昔びついています	すか?	働で暑	観に配慮したす	きちづく	りかけ	生准す	スーレけ 歴	中的か 書観や
Δ			結びつ	いている				したもの	観が守られるこ	地域に	あっ	た景観	見が創られるこ	とに結びつく。
鼠			間接的	に結びついてい	<b>^る</b>									
A目的妥当性				いていない										
性	2	·この事 ·税金	事業をな を投入し	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの ですか?	Dですか?		成し、こ	成は、市民・事 又は創出するも	のであ	る。			
		-	妥当で	ある					地域の自然的社 的に策定し実施					戊に関する施策
			見直す	必要がある										
	(3)	成果が	前上す.	る余地(可能性)	はありませんか	N ?		啓発活	動の充実により	)向上	する弁	地が	ある。	
				る余地はかなり 										
	_			る未述はめる情  る余地はほとん										
								良好な	景観の保全や	形成が	なさ	れず、	景観を指ねる	) o
B有効	(4)	廃止・(	木止の景	/響はありません	ッか? 			20,4 5.	ж. Б. С. Г. Д. С. Г.				X130 C 2X1	0
効性			影響が	ある										
-			影響が	ほとんどない										
	⑤			†象・意図)又は₹ んか?(市以外の			の事務	類似 合の	事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない				景観計	画及び景観条・行政で協働し	例で、	景観	の保全	と及び形成に	ついて、市民・
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない		業はな		人门比及	EUC	V .\_	.220 ( 1 %)	-107、規以27事
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	事務事	業の手段	g(やり方)を工夫で付先に働きかけて	することで、事業費	きを削減できません。 まできませんか?	いか?		業にかかる予算 観に関する事項					
		- HH D) 3	削減で		、中の真理で削減	2 CC 2 E 10 10 :			り、削減できない景観審議会委			(H) 111.7H	1 1 1 7 1 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	700亿女胜真*7
С			削減で					A39 I±0 11•	八 四 田 成 五 久	,	н			
C 効率				とし (やり方)を工夫す	することで、人件者	*(延べ業務時間)	を削減		及び霧島市景	観条例	別に定	められ	1た最低限の	事務のため削
性	7	できませ	んか?	なや委託により人作			C177#24	減でき	ない。					
		-	削減で	きない										
			削減で	きる										
_	8			容が一部の受益					景観には公共に		り、市	民が	その恩恵を受	けることにより
D公平性		また、		<u>(担の公平性が?</u> 公正である	唯体されていま	9 70 ?		工伯來	:免が旧エッる。					
性		_		必要がある										
_					NATIONAL STATES									
7.	1次	評価精	果 <	PLAN>(組織	(決定)	[参考]#	年度の改	革改善の	方向性≪	継	売・や	り方で	<b>枚善</b>	>
		务事業(		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	á	統合		休止	廃止
改訂	善の た	方向性		0	0									
				景観法及び景観	観計画に基づく 対象としたまちた	届出に関して、 よみウォッチング	- 一層の原 を継続1	目知を図	り、良好な景観の豊重な景観に	の創出	出に取っても	なり組む	た。 しなに それら	を次の世代に
		成27年月	度の改	継承していくた	めの土台作りに					_				
		の内容 むべき	課題)	0	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
						届出に係る周知						き続き	を取り組む。	
				また、啓発活動	の一環として市	うけい学校向ける	り景観だ	よりの竹	F成・発行に取り	組む。				
	_													
(3) 向作	)平月 生•取	成28年月 双組目標	度の方											
(3) 向情	) 平瓦 生• 取	成28年月 双組目標	度の方											
(3)	)平瓦 生•耶	戊28年月 双組目標	度の方											
向竹	生• 取	成28年原 双組目標 <b>評価結</b>	E .	当部長評価)										
8.	生•取 <mark>2次</mark>	双組目標 	果(担	当部長評価) 継続	わり方改業	コスト扩充	771	統小	<b>海堆</b>	4	統合		休止	廃止
<b>8.</b> (1)	生·取 2次 ()事剂	双組目標	果(担		やり方改善	コスト拡充	그スト	縮小	連携	á	統合		休止	廃止
<b>8.</b> (1)	生·取 2次 ()事剂	<ul><li>取組目標</li><li>評価結</li><li>等事業の</li></ul>	果(担		やり方改善	コスト拡充	그자	縮小	連携	á	統合		休止	廃止
<b>8.</b> (1)	生·取 2次 ()事剂	<ul><li>取組目標</li><li>評価結</li><li>等事業の</li></ul>	果(担		やり方改善	コスト拡充	그자	縮小	連携	ń	統合		休止	廃止

事務事業 0108050101010403	事 務事業名	景	観形成事業	担当部担当課	建設部 都市計画課
9. コストの推移					
(単位:千円)	平成26年	度(決算)	平成27年度 (当初予算	.) 平	成28年度(計画)
1 報 酬		0		155	155
2 給 料 3 職員手当等					
4 共 済 費					
5 災害補償費					
7 賃 金 8 報 償 費 <b></b>		5		0	
9 旅 費		0		17	17
10 交 際 費					
11 需 用 費		0		0	0
消耗品費					
食 糧 費					
印刷製本費					
光 熱 水 費   修 繕 料					
期 材 料 費					
飼料費					
医薬材料費 12 役 務 費		0		0	0
通信運搬費		0			
広 告 料					
手 数 料 保 険 料					
13 委 託 料					
14 使用料及び賃借料					
15 工事請負費					
16 原 材 料 費 17 公有財産購入費					
18 備品購入費					
19 負担金補助及び交付金				0	
20 扶 助 費 21 貸 付 金					
22 補償補填及び賠償金					
23 償還金利子及び割引料					
24 投資及び出資金       25 積 立 金					
26 寄 附 金					
27 公 課 費					
28 繰 出 金		5		172	172
		0		0	112
		0		0	
特定財源   内訳		0		0	
一般財源		5		172	172
計		5		172	172
補助率 国 県					
補助基本額					
平成26年度補正•流用状	況	平成26年	度特定財源内訳		
当初予算	1	72	区分	名称	金額
補正予算 補正第7号		14 14			
7冊正第7万	-1	11			
流用・充用		5			
予算合計		63	合 計		0

1. 基本	情報										
事務事	業	0108050	101010501	主	<b>業夕</b> 国公	即級人法	<b>公</b>	<b>达</b> 第 田 東 世	÷	担当部	建設部
	<u>コード</u>									担当課	都市計画課
政策:	名	01	快適	で魅力あ	るまちづくり					グループ	都市計画G
施策:	名	01	01 生活基盤の充実							電話番号	45-5111
基本事	業名	05	中心i	市街地の	活性化					内線番号	2872
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
算	款	08	土木	費				事業 期間	■ 単年度繰返 (開始	年度 H	19 年度~)
予     会計       算     款     08     土木費       科     項     05     都市計画費       日     01     都市計画機								7971月1	□ 期間限定複数年度	Ę(	~ )
目	目	01	都市	計画総務	費			根拠法令·条例等	霧島市国分駅総合待合	所の設置及び管	管理に関する条例
評価区	₹分		標準訊	延価	評価対象	1次	評価	関連計画			

## 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

マ成19年6月1日より供用開始となった国分駅内の総合待合所、公衆トイレ及び駅前広場等の維持管理を行い、駅利用者等が安全で快適に利用できることを目的としている。 施設等の清掃の管理については事業者と年間業務委託契約を結び、行っている。 駅利用者等からの通報により修繕の必要が生じた場合、すみやかに市内業者に依頼し可能な限り早急に修繕し、駅利用者等に迷惑をかけないよう努めている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア清掃		回	13 10 1	(2.00)	365	366	365
イ除草作業		口			4	6	6
ウ 修繕		П			3	3	3
(2) 事務事業の目的							
<ul><li>② 対象</li><li>(誰、何を対象にしているのか)</li></ul>	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア国分駅利用者	年間乗降者数	人			2,098,768	2,100,000	2,100,000
1							
<mark>ф</mark>							
<ul><li>① 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 安全で快適に利用できる	利用者からの苦情等の件数	件			3	3	3
1							
<mark>ф</mark>							
(3) 上位の基本事業							
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア・買い物がしやすくなる ・活性化する(賑わう)	国分・隼人の市街地が活性化している(買い物のしやすさ、回遊性)と考える市民の割合	%	68.8	62.8	67	67	68
1							
<mark>ф</mark>							

# 駅利用者が年々増加しており、利用者からのニ ーズや苦情も増えることが見込まれるため、きめ 細やかな対応が求められる。

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

4	車	生物	לת:	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
7	402		,001	ענים			+12	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	を出	睁	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	ブ	<u> </u>	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円			421	405	405
投入量			_	般	財	源	千円			3,049	3,255	3,255
量		耳	業	費			千円	0	0	3,470	3,660	3,660

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

## <左記の実績(取組)による成果を記載

【清掃作業委託費分】 1,260,848円 【除草作業委託費分】

49,864円 【修繕料】 58,320円

清掃、除草作業及び修繕を行うことで、市民や公共機関利用者が、施設を安全で快適に利用できたと考える。

_	₽務∜	事業 -ド	01080	50101010501	事 務 事業名	国分駅総合	合待合所等維	持管理事業	担当	部課	建語 建語	投部 計画課
6.	振り	返り <	(SEE>						<u> </u>		History	
	1				事業の意図に約	古びついています	か?の充実安全	っ歩いてでも立ち 実など他の協力; で利便性のあるカ っれる。	がなければ	话性化	していかない	と思われるが、
A				いている  に結びついてい			C.心4.	74 VQ <sub>0</sub>				
A目的妥当性				いていない	<u>୍</u>							
<b>妥</b> 当				いていない <mark>ぜ市が行わなけ</mark>	ればならないの	Dですか?	総合名	寺合所や公衆ト	イレ等は市	の予算で	で建てたもの	であり、駅利用
性	(2)			て達成する目的			者·関	係者のみならず	"不特定多	数の方が	1利用する施	設であるため。
			妥当で									
L			見直す	必要がある			羽左	事業者に年間	<b>坐</b> 数未补力	ゲーブ	ハブルジ 光改	禾乳が日本小(
	3	成果が	向上する	6余地(可能性)	はありませんか	v.S.	現在、	事業有に平同。 朝の時間帯のる で快適な施設に	み。更に夕	方の時間	引帯も依頼)こ	
			向上す	る余地はかなり	ある			く「八週・よん間大「一	, x-0 C C N .	70,22341	~ <b>~</b> 0	
			向上す	る余地はある程	!度ある							
			向上す	る余地はほとん	どない							
В	4	廃止∙何	木止の影	響はありません	か?		安全	生や快適性が保	てなくなる	ため、影	響が出てくる	0.
B有効性		•	影響が	 ある								
性			影響が	ほとんどない								
	⑤			*象・意図)又は るか?(市以外の		啓発等)を持つ他		以事業がある場 D事務事業名等				
		<b>→ → →</b>		事業はない	)	7007211007	霧島市	市国分駅総合待				条例に基づき
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない	行って	こいる事業である	ため、類似	よ事業は	ない。	
			類似の	事業があり、統	 合又は連携でき	 きる						
	<b>6</b>	•事務事	業の手段	・ (やり方)を工夫す	することで、事業費	遺を削減できません 或できませんか?	<b>ルか?</b> 必要はない。	最小人数の従事	者による才	託契約	で行っており	、削減はでき
	_	・補助並	削減で		、中の貝担を削減	(できませんが?	74 %					
c		_	削減で									
効率	_	•事務事	業の手段		よることで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減 現在、	業務委託を行っ	っており、こ	れ以上の	の削減はでき	ない。
性	7	できませ ・職員じ	·んか? l外の対応	や委託により人件	‡費を削減できま	せんか?						
			削減で	きない								
			削減で	きる								
D	8			<mark>容が一部の受益</mark> 担の公平性が			施設は	は市民及び利用	者が使用	するため	公平性は保	たれている。
公平性		-	公平・公	公正である								
性			見直す	必要がある	-							
7.	1次											
		評価結	果 <f< th=""><th>PLAN&gt;(組織</th><th>決定)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></f<>	PLAN>(組織	決定)							
						【参考】前			/± ^		休止	≫
		評価結		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	ì	休止	廃止
		<b>務事業</b> の	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携			休止	
改書	善の	務事業6 方向性	D改革	継続	やり方改善		コスト縮小	連携			休止	
(2)	手の 平原 牧善(	務事業の 方向性 成27年原	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携			休止	
(2)	手の 平原 牧善(	務事業6 方向性 成27年原	の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携			休止	
(2)	手の 平原 牧善(	務事業の 方向性 成27年原	の改革 (	継続 〇 現在、市の直営	やり方改善 O でなく事業者と	コスト拡充	コスト縮小 契約を結び、コ	連携スト削減を図って	ている状況	である。	休止	
(2)	手の 平原 牧善(	務事業の 方向性 成27年原	の改革 (	継続 〇 現在、市の直営	やり方改善 O でなく事業者と	コスト拡充	コスト縮小 契約を結び、コ	連携スト削減を図って	ている状況	である。	休止	
(2) 革取 (3)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	務事業6 方向性 或27年原の内容さ	り改革	継続 〇 現在、市の直営	やり方改善 O でなく事業者と	コスト拡充	コスト縮小 契約を結び、コ	連携スト削減を図って	ている状況	である。	休止	
(2) 革取 (3)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	務事業の 方向性 或27年原 の内容 むべき	り改革	継続 〇 現在、市の直営	やり方改善 O でなく事業者と	コスト拡充	コスト縮小 契約を結び、コ	連携スト削減を図って	ている状況	である。	休止	
(2) 革取 (3)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	務事業6 方向性 或27年原の内容さ	り改革	継続 〇 現在、市の直営	やり方改善 O でなく事業者と	コスト拡充	コスト縮小 契約を結び、コ	連携スト削減を図って	ている状況	である。	休止	
改 (2) (2) (6) (3)	等の () 平善() 平善() 平・下 () ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	第事業6 成27年存 成27年存 成28年 成28年	の改革したの改まり、	継続 〇 現在、市の直営 現在、市の直営	やり方改善 O でなく事業者と	コスト拡充	コスト縮小 契約を結び、コ	連携スト削減を図って	ている状況	である。	休止	
改 (2) 革取 (3) 向 (8.	等の アライ アライ アライ アライ アライ アライ アライ アライ アライ アード アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・アード・	第事業6 成27年容き 成28年目標 成28年目標	の改革とは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	継続 〇 現在、市の直営	やり方改善 〇 さでなく事業者と	コスト拡充 上午間業務委託 サーター 一年間業務委託 サーター 一年間業務委託 サーター アーター アーター アーター アーター アーター アーター アーター	コスト縮小 契約を結び、コ 契約を結び、コ	<b>連携</b> スト削減を図っ <sup>-</sup> スト削減を図っ <sup>-</sup>	ている状況	である。	休止	
改 (2) (2) (3) (n) (3)	事の ) 平善組 ・	第事業6 成27年存 成27年存 成28年 成28年	の改革とは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	継続 ○ 現在、市の直営 現在、市の直営	やり方改善 O でなく事業者と	コスト拡充	コスト縮小 契約を結び、コ	連携スト削減を図って	ている状況	である。		廃止
改 (2) (2) (3) (n) (3)	事の ) 平善組 ・	<ul><li>第事向</li><li>ずのむ</li><li>ずのむ</li><li>ずのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li></ul>	の改革とは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	継続 ○ 現在、市の直営 現在、市の直営	やり方改善 〇 さでなく事業者と	コスト拡充 上午間業務委託 サーター 一年間業務委託 サーター 一年間業務委託 サーター アーター アーター アーター アーター アーター アーター アーター	コスト縮小 契約を結び、コ 契約を結び、コ	<b>連携</b> スト削減を図っ <sup>-</sup> スト削減を図っ <sup>-</sup>	ている状況	である。		廃止
改 (2) (2) (3) (n) (3)	事の ) 平善組 ・	<ul><li>第事向</li><li>ずのむ</li><li>ずのむ</li><li>ずのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li><li>でのむ</li></ul>	の改革とは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	継続 ○ 現在、市の直営 現在、市の直営	やり方改善 〇 さでなく事業者と	コスト拡充 上午間業務委託 サーター 一年間業務委託 サーター 一年間業務委託 サーター アーター アーター アーター アーター アーター アーター アーター	コスト縮小 契約を結び、コ 契約を結び、コ	<b>連携</b> スト削減を図っ <sup>-</sup> スト削減を図っ <sup>-</sup>	ている状況	である。		廃止

事務事	<b>業</b>		事 発		+ A = r fets //L 1 + fets = m - + Alle	担当部	建設部
コード		101010501	事 務 事業名	国分駅総合符	<b>寺合所等維持管理事業</b>	担当課	
9. コスト	の推移						
		:千円)	平成26年	丰度 (決算)	平成27年度 (当初予算)		平成28年度(計画)
1 報		栖					
2 給		料					
3 職							
4 共		費					
	害補						
7 <u>賃</u> 8 報		<u>金</u> 費					
9 旅		 費					
10 交		 費					
11 需		<del></del> 費		2,034	2	2,150	2,150
		 品費		2,001		,,130	2,100
	燃料	費					
	食 糧	費					
	印刷製	-					
	光熱			1,976	1	,970	1,970
	修繕	料		58		180	180
	賄材料						
	飼料	費					
40 (11)	医薬材			15		10	10
12 役		費		17		18	18
	通信運	版 負 料					
	<u>広</u> 告 手 数	料		8		8	8
	保険	 料		9		10	10
13 委		 料		1,419		,492	1,492
	<del></del> 用料及び1			1,110		,,100	1,102
15 I	事請:	負費					
16 原	材料	費					
17 公	有財産購	入費					
18 備	品購。	入費					
	旦金補助及び						
20 扶		費					
21 貸		金					
	賞補填及び						
	量金利子及び <b>資及び</b> 出						
25 積	<u>貝及び正</u> 立	金					
26 寄	 附	 金					
27 公							
28 繰		金					
計				3,470	3	,660	3,660
	国庫支			0		0	
特定財源	県 支			0		0	
源財	地方			0		0	<u></u>
財源内訳	そ の			421		405	405
	般 財	源		3,049		,255	3,255
	計			3,470	3	3,660	3,660
補助	率	国					
	1	県				- 1	

## 補助基本額 平成26年度補正·流用状況

当初予算	3,431
補正予算	0
流用・充用	76
予算合計	3,507

#### 平成26年度特定財源内訳

一次20十支时足别##	310/	
区分	名称	金額
その他	雑入(都市計画図等分譲代他)	200
その他	国分駅総合待合所使用料	221
		421

1. 基本	情報												
事務事	業	01080501	01010500	車茲車	<b>娄夕</b> 国/	公, 供	人駅前駐輪場及	なったます。古+日.名	空田市坐	担当部	建設部		
ㅁㅏ	,	01000301	01010502	争协学	未有日当人	刀。中人	/ C 同八日リ 尚工 中間 * クカ / ク	又い紅牛物!	目 任 尹 未	担当課	都市計画課		
政策	名	01	快適~	で魅力あ	るまちづく		グループ	都市計画グループ					
施策律	名	01	生活	基盤の充	実				電話番号	45-5111			
基本事業	業名	05	中心市	市街地の	活性化					内線番号	2873		
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ				
予 算 科 目	款	08	土木乳	費				事業 期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始年	F度 H	10 年代~)		
科	項	05	都市記	計画費				79][F]	□ 期間限定複数年度(		~ )		
目	目	01	都市記	計画総務	費			根拠法令·条例等	霧島市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例 ほか				
評価区分		7	標準評	2価	評価対象	象	1次評価	関連計画			I		

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国分駅前(東口)、国分駅西口駅前及び隼人駅前自転車駐車場において、朝の混雑時に駐車場利用者への誘導、駐車自転車の整頓、場内の清掃を行うとともに、自転車駐車場内蛍光灯交換等の維持管理を行い、自転車駐車場の利便性を向上させる。また、自転車駐車場内に3日間以上放置されている自転車等に対しては、霧島市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例第12条第1項及び第2項の規定により、撤去指導書の貼付及び撤去期限(貼付後7日間)経過後の撤去・保管を行うことで、駐車スペースを確保し、駐車場を

- 項及の第2項の規定により、撤去指導書の貼り及の撤去期限(貼り後7日間) 経過後の撤去・保官を行うことで、駐車スペ 有効活用する。 ・国分駅前(東口)自転車駐車場 ・国分駅西口駅前自転車駐車場 ・塩人駅前自転車駐車場 ・集人駅前自転車駐車場 ・駐車場容量 自転車置場:76台、原付自転車置場:136台、自動二輪車置場:10台 ・駐車場容量 自転車置場:725台、原付自転車電場:70台、自動二輪車置場:7台 合
- -合計:802台

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア 自転車駐車場管理業務就業延べ日数	(国分駅前、国分駅西口駅前、隼人駅前)	日			968	971	971
イ 放置自転車等撤去台数		台			210	240	220
<mark>ੈਂ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
<ul><li>② 対象</li><li>(誰、何を対象にしているのか)</li></ul>	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 放置自転車等	放置自転車等撤去台数	台			210	240	220
1							
<del>o</del>							
<ul><li>② 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア 撤去し、駐車スペースを確保及び利用 者の利便性向上を行う。	放置自転車等撤去台数	台			210	240	220
1							
<mark></mark> ბ							
(3) 上位の基本事業							
<ul><li><b>⑥ 基本事業の意図</b></li><li>(さらにどのような成果に結びつくのか)</li></ul>	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア買い物がしやすくなる	国分・隼人の市街地が活性化している(買い物のしやすさ、回遊性)と考える市民の割合	%	68.8	62.8	63	67	68
イ 活性化する(賑わう)	国分・隼人の市街地が活性化している(買い物のしやすさ、回遊性)と考える市民の割合	%	68.8	62.8	63	67	68
<del>o</del>							
3 東際東業の環境変化。古民意	日体		2/任臣	25年度	26年度	27年 座	20年度

## 事務事業の環境変化・市民意見等

平成19年6月国分駅西口駅前自転車駐車場の 平成19年6月国方駅四日駅前日駅車駐車場の 新設、平成21年12月国分駅前及び平成23年 4月隼人駅前自転車駐車場の改修により、駐車 可能台数が増加している。この間の放置自転車 等撤去台数は、平成23年度に一旦大幅な増加 を見せたものの、それ以降は横ばいとなってい

る。 平成25年度までは、撤去後に保管期間を満了 した放置自転車等は、敷根清掃センターまで運 搬し、廃棄処分を行っていたが、平成26年度は 入札による売却(廃棄処分)を行った。

4	nt d	) 建	ω±	<b>佳移</b>			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	R IR	TCO.	生物			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円			0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円			0	0	0
	費	訳	そ	0	D	他	千円			2,160	2,073	2,073
投入量			_	般	財	源	千円			675	274	274
量		事業費			千円	0	0	2,835	2,347	2,347		
_												
	·											

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

放置自転車等撤去台数 210台

自転車駐車場内に放置されていた自転車等の撤去・保管を行うことで駐車スペースを確保し、利用者の利便性を向上させた。

Ę	移る		01080	50101010502	事務事業名	国分·隼人駅	前駐輪 電		場管理		当	部		设部
6	ー 振り	<u> </u>	SEE>		尹未石		尹之	F		担	理	課由	都巾	計画課
0.					車業の音図に終	<b>詰びついていま</b> す	t to 2	放置自転車	等を撤去し	し、駐	直スペ	ペースの	確保及び利	月者の利便性
					事業の息図に	らい しいていまり		、ひいては中	とは、国気 心市街地	分駅及 也での!	び隼/ 買い物	人駅の利 かのしや	リ用のしやっ すさや活性	ナさにつながり 化に間接的に
A				いている				結びつく。						
目的				に結びついてし	<b>^る</b>									
目的妥当性				いていない	1-184->4-1-4	n-+1. n		士によれいて東	か/共1 た亡	**:古	Eナ-計-1	目のたけ	、この答曲	1事業は去ぶ行
産	2			ぜ市が行わなけ て達成する目的		<b>りですか?</b>		うべき役割で		中四甲	肚果。	易♥フ/こ♡ノ	ての官母	事業は市が行
			妥当で	ある										
			見直す	必要がある										
	3	成果が	向上す	る余地(可能性)	はありませんだ	)\?								主意喚起や啓ある程度ある。
			向上す	る余地はかなり	  ある									
			向上す	る余地はある程	 ≧度ある									
			向上す	 うる余地はほとん	 どない			-						
	<b>4</b> )	<b>廖止•</b>	大 止 の 暑	ジ響はありません	,ħ\?									の整頓、場内
B 有 効	•				<i>713</i> .			ることから、駐						ままの状態とな に大きな影響
効性		_	影響が					がある。						
	-	類似の		、ほとんどない ・音図)∇は	形能(イベントム)	啓発等)を持つ他	の事務	類似事業が	がある場					
	(5)			んか?(市以外の				合の事務事	業名等					
			類似σ	事業はない				転車等の放け	置防止及	び適正				及び霧島市自 基づき行って
			類似σ	)事業はあるが、	統合又は連携	できない		おり、類似事	業はない	0				
L			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる		V	w - 0/ <del>-</del>	-le 1 1		c ten ()	/= -1:1a	Mal N No. 2 - 2 No. 3
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	殳(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	貴を削減できません 載できませんか?		必要最少人数の従事者による委託契約を行っており、削減はできたい。						
			削減で	きない										
C 効			削減で	きる										
率性	(7)	・事務事できませ	業の手段	役(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)		現在も業務す おり、削減は			員は基	本的に	事務作業の	りみを担当して
1	•			なや委託により人作	件費を削減できま	せんか?		4						
				きない										
		= 77 =	削減で			±11.11.0		白起击卧击	日の利田	*##	山田州	たすみで	マットル・ルトル	:共性があること
D	8	事務事また、	美の内受益者負	容が一部の受益 負担の公平性が	発育に偏っている 確保されていま	ませんか? きすか?		から、公平性				と同める	J-C1-122	(共主がる)のこと
D公平性			公平・	公正である										
1±			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組制	t決定)	[争考]前	年度の改革	改善の方向性く	«					<b>&gt;</b>
(1)	古水	<b>  古                                   </b>	カットサ	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト		連携		統合	_	休止	廃止
		務事業の 方向性		0	O		3/1/1	лн / I ·	<b>生1</b> 55	<u>'</u>	ואו ם			
						<b>┃</b> Ξ等が発生してレ	いろため.	白転車駐車	場内に注	音喚ま	記や啓	発用の	表示を行い	│ - 放置自転車
(0)	. ਜ਼ਰ ਦ	÷07Æ	± 0.74	等の減少に取り	組むとともに、	駐車場内照明設から、保管期間を	设備等の約	έ持管理に努	め、利用	者が多	を心し	て使用	できる環境を	
革	女善(	27年月の内容												
( JX	り組の	むべき	誅越)											
L				<b>用化类数4.%</b> kk	書 利用学ぶ	安心して使用で	キス理控力	が保持士ス						
				元小米がて配	死し、利用相かり	女心して使用で	C(3)來先(	□小井1寸 り つ。						
		28年月												
IPJ J	土 " 均X	組目標	₹											
8	<u>2 /</u> 1⊽≣	評価結	里 (生	当部長評価)										
				継続				4.	± 1"				休止	廃止
	事務 等方向	務事業の 句性	の改革	和土 村) C	やり方改善	コスト拡充	コスト	福小 :	連携	i	統合		小工	<b>)</b>
(2)	総	評												

事務コー	事業ード	0108050101010502	事 務事業名	国分•	·隼人駅前	駐輪場及び駐	車場管理事業	担当担当		建設部 都市計画課
9. ⊐	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	■度 (決	<b>快算</b> )	平成27年	F度 (当初予算	)	平成28年	度 (計画)
1	報	栖								
2	給	料								
3	職員									
5	<u>共</u> 災 害	済 費 評補 償 費								
7	<u>火 章</u>	金								
8	<del></del> 報									
9	旅	費								
10	交	際費								
11	需	用 費			1,015	5		445		445
	消									
	燃									
	食									
	光	刷製本費 熱 水 費			275			250		250
	光修				718			195		195
	賄				110	1		100		133
	飼									
	医	薬材料費								
12	役	務 費			(	)		0		0
		信運搬費								
	広									
	手									
12	保	険料     託料			1 000			1 002		1 000
13	委 申 #	<u></u> ・ 正 科			1,820	)   		1,902		1,902
15	工事									
16		材料費								
17		財産購入費								
18	備品	購入費								
19		補助及び交付金								
20	扶	助費								
21		付金								
22		i填及び賠償金 利子及び割引料								
24		及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計				2,835	5	:	2,347		2,347
	特層	庫支出金								
財	特定財源									
財源内訳	源を	の他			2,160	)		2,073		2,073
訳		般 財源			675			274		274
		計			2,835			2,347		2,347
☆≓	助率	国								
		県								
		基本額								
平成2		[補正・流用り			平成264	F度特定財源	<b>为訳</b>			
		]予算	2,	702	ZAlih	区分	<b>駐車相供田</b> /6	名称		金額
	7用 止	予算		0	その他		駐車場使用料	r		2,160
				$\dashv$			+			

当初予算	2,702
補正予算	0
流用・充用	133
予算合計	2,835

	W.	
区分	名称	金額
その他	駐車場使用料	2,160
	合 計	2,160

1. 基本	情報														
事務事	業	0108050-	101010005	主	<b>学夕</b> 八唐	整備事業	;						当部	建設部	
	ド	0100030	101010003	争协争	**	定用尹禾						担:	当課	都市計画	課
政策:	名	01	快適	で魅力あ	るまちづくり				グル	レープ	都市整備の	G			
施策	名	生活	基盤の充	実							電話	番号	45-5111		
基本事業名 06 公園・広場等の整備										内約	播号	2881			
予	会計	一般	会計					± ₩		単年度のみ					
算	款	08	土木?	費				事業 期間		単年度繰返	(開始年	F度			
予算科目	項	05	都市	計画費				初申		期間限定複	数年度(		H22	~	)
目	目	04	公園	費				根拠法令·条例等	都市	公園法					
評価区分 簡易評価 評価対象 1次評価					関連計画	霧島	市緑の基本	計画							

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市民から、交流やふれあいの場として身近に利用できる公園やレクリエーションなどを通じた健康増進の場として広く活用できる公園など多様なニーズの公園整備が求められている。 当課では、緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める「霧島市緑の基本計画」を策定していることから、この計画に基づき、計画的に公園整備を行う。 平成25年度(繰越)八幡公園整備(隼人地区)、牧之原運動公園園路整備(福山地区) 平成26年度 上小川コミュニティ広場整備(国分地区)、浜之市地区公園整備(隼人地区)

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア 用地・補償件数		件	0	0	12	1	0
イ 公園整備工事		箇所	0	1	1	1	1
<mark>ゥ</mark>							
(2) 事務事業の目的							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア市民							
イ公園							
<mark>ਹ</mark>							
<ul><li>② 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	<ul><li>⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)</li></ul>	単位	<b>24年度</b> (実績)	<b>25年度</b> (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア 日常のコミュニケーションや休息、スポーツレクリエーション、ふれあいの場、 災害時の避難地として利用してもらう							
イ 公園面積が増える							
<del>ن</del>							

## (3) 上位の基本事業

į	一上中心是十十十							
6	基本事業の意図	⑦ 基本事業の成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さ	らにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意図の達成度を表す指標)	+12	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	憩いと交流の場が確保される							
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

「霧島市緑の基本計画」にコミュニティ広場(街 区公園)の整備が計画されている地域から、早 期着手に向けての地区要望や意見が寄せられ ている。 議会からも、早期着手に向けての地区 要望や意見が寄せられている。

А	1000 100	* #	ω±	隹移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ė	412	F.R.	, v) 1	止19			丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	と出	睁	千円	0	5,181	100,100	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	Į.	5	債	千円	23,000	26,400	10,455	54,100	104,000
	費	訳	そ	0	)	他	千円	0	0	0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円	1,290	9,408	1,864	2,900	5,500
量		事	業	費			千円	24,290	40,989	112,419	57,000	109,500

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

#### (2)平成26年度の成果

・浜之市地区公園整備(隼人地区)を完了した。(A=1,220㎡)

・上小川コミュニティ広場整備(国分地区)は、実施設計と用地取得を先行して行い、平成27年度工事実施の準備を行った。 (用地買収面積 8,752㎡)

・日常のコミュニケーションや休息の場として公園を新たに整備することにより、スポーツレクリエーションなどのふれあいの場の利便性向上を図ることができた。

・平成26年度に実施した用地取得によって、次期の工事を行う段階となっ

この事 □ □ ・	結びついて間接的に結びでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでする。 はないである要は、 はないでする。 はないでする。 はいでは、	いる びついてい いない がすする目的 がある 他(可能性) 地ははほとん ん意?(市ないるり、エナイン) 働きかけて (はなあらり、エナイン)	いる ければならないの ですか?  いはありませんが  いある  主度ある  いどない  いか?  形態(イベントや) の主体が実施する  統合又は連携  に合又は連携できる	か? 啓発等)を持つ他 もものを含む。) できない きる 費を削減できません	の事務	類似事業があ合の事務事業	る 場 名 等	理 由		
	結びついて 間接のいて はないには はないではしてある要 向上するる余 向上すするる余 向上すするる余 は は、対してのががあると が対してののの事業であると が対しま似似のの事業できない。 は、対し、事事事業できない。 は、できない。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ	いる びついてい いない がすする目的 がある 他(可能性) 地ははほとん ん意?(市ないるり、エナイン) 働きかけて (はなあらり、エナイン)	いる ければならない の ですか?	か?  啓発等)を持つ他 もものを含む。)  できない きる  費を削減できません	の事務	類似事業があ合の事務事業	る名等			
□ · この金? □ 成果が□ □ □ 麻止・f 類似のは □ □ ・ 事補 □ □ □ ・ 事補 □ □ □ ・ 事	間接的に結びないでは、一点を入り当でする。会は、一点上する。会は、一点上する。会は、一点上上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、上、	びついていいないがするものでははあるをは、 はいません はいません はいません はいません はいません はいません はいまない はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	ければならないの ですか? はありませんが しある 程度ある しどない しか? 形態(イペントや)の主体が実施する 統合又は連携でき することで、事業者	か? 啓発等)を持つ他 もものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場 名等			
- この	結びついて 「業を入当する会 同上する会 向上する会 向上すする会 会会会 大上の影響があると 影響が対せのの事事業業 など、変 があると があると があると があると があると があると があると がま似似のの事後が失れ できない。 できない。 できない。	いない が行わなけれていた。 がある 他(可能性) 地ははある程 地ははほとん をあり、又以外 にはあるり、エナイ のではない。 はない。 はない。 はないが、統 大きで のではないが、統 大きで のではないが、統 大きで のではないが、統 大きで のではないが、統 大きで	ければならないの ですか? はありませんが しある 程度ある しどない しか? 形態(イペントや)の主体が実施する 統合又は連携でき することで、事業者	か? 啓発等)を持つ他 もものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場			
· この書で・税金で	要素をなしてある 見直する余は 向上する余か 向上する余か 向上する。 向上する。 向上する。 向上する。 向上する。 向上する。 の 向上する。 の 向上する。 の りまする。 の りまする。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 の りまり。 りまり。	が行わなける目的 がある 他(可能性) 地ははあるもい 地ははほとん はありません んどな)又以外 のではない にはあるが、統 のではない にはあるが、統 のではない にはなるが、統 のではない にはなるが、 にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない にはない	ですか? はありませんが しある は度ある しどない しか?  形態(イベントや) の主体が実施する  統合又は連携できることで、事業者	か? 啓発等)を持つ他 もものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場			
成果が日本の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一	投入して達る 見直す必要 向上する余か 向上する余か 向上する余余 向上する。余余 本上の影響があると 影響が対せの事事業 業など、交付先に が減できない。	或する目的 がある  也(可能性) 地ははある程 ・地ははほとん ・ありません ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ですか? はありませんが しある は度ある しどない しか?  形態(イベントや) の主体が実施する  統合又は連携できることで、事業者	か? 啓発等)を持つ他 もものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場			
成果が□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	妥当である 見直す必要 向上する余か 向上する余余 向上するる余 向上すするる余 大上の影響が対象が 類似のの事類似のの事類似のの事業が表する。 類似のの事業できない。 できない。 できない。	がある 地(可能性) 地はかなり 地はある も(ありません んどない 意図) 又は っ?(市い) はない はあるが、統 があり、統 の方)をかけて	はありませんが りある 呈度ある いどない いか? 形態(イベントや) の主体が実施する 統合又は連携でき することで、事業者	啓発等)を持つ他もものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場			
成果が	向上する余は 向上する余 向上する余 向上する余 向上する余 を響がある 影響がほと。 目的はませんか 類似の事業 類似の事業 業の手段(やしなど、交付先に 削減できない	他(可能性) 地はかなり 地はある程 地はほとん なありません んどない 意図)又は っ(市以外の はない) はない はあるが、 があり、統 し方)をエ大っ	関係を は連携できることで、事業者	啓発等)を持つ他もものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	<b>る場</b>			
原止・付 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	向上する余 向上する余 向上する余 木止の影響は 影響がある 影響がほと。 目的(対象・)が 類似の事業 類似の事業 業の手段(やしなど、交付先に 削減できない	地はかなり 地はある程 地はほとん んどない 意図)又は ?(市以外の はない はあるが、 があり、 統 (力)をエナで	関係を は連携できることで、事業者	啓発等)を持つ他もものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場			
原止・作 □ □ □ 事務申金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向上する余 向上する余 木止の影響は 影響がある 影響がほと。 影響がほと 類似の事業 類似の事業 類似の事業 業の手段(やしなど、交付先に 削減できない	地はある程 地はほとん んどない 意図)又は ?(市以外の はない はあるが、 があり、統 (力)をエナで	程度ある いどない いか?  形態(イベントや) の主体が実施する  統合又は連携で  おことで、事業者	るものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	<b>る場</b> 名等			
廃止・作 □ 類似のの □ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	向上する余 木止の影響は 影響がある 影響がほと。 目的(対象・) 類似の事業 類似の事業 業の手段(やしなど、交付先に 削減できない	地はほとん んどない 意図) 又は ?(市以外のはない) はない はあるが、 があり、統 があり、統 一働きかけて	ルどない しか? 形態(イベントや) の主体が実施する 統合又は連携で は合文は連携できますることで、事業者	るものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場 名等			
廃止・作 □ 類似の事業は □ □ ・ 事務助金	未止の影響は 影響がある 影響がほと 目的(対象・) ありませんか 類似の事業 類似の事業 業の手段(やりなど、交付先に がなど、交付先に 削減できない	んどない 意図)又は ?(市以外の にはない はあるが、 があり、統 があり、統 「一働きかけて	形態(イベントや)の主体が実施する 統合又は連携で であることで、事業者	るものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	<b>る場</b> 名等			
類似の事業は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	影響がある 影響がほと。 目的(対象・ 類似の事業 類似の事業 類似の事業 業の手段(やしなど、交付先に 削減できなし	んどない 意図) 又は ?(市以外の はない はあるが、 があり、統 があり、統 一働きかけて	形態(イベントや)の主体が実施する 統合又は連携 統合又は連携できることで、事業者	るものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	<b>る場</b> 名等			
類似の事業は	影響がほと 目的(対象・) ありませんか 類似の事業 類似の事業 類似の事業 業の手段(やしなど、交付先に 削減できなし	意図) 又は? (市以外にはないにはあるが、があり、統があり、統一の表示として)	の主体が実施する 統合又は連携 では連携できることで、事業費	るものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ 合の事務事業	る場 名等			
類似の事業は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目的(対象・)ありませんか類似の事業類似の事業類似の事業業の手段(やりなど、交付先に削減できない	意図) 又は? (市以外にはないにはあるが、があり、統があり、統一の表示として)	の主体が実施する 統合又は連携 では連携できることで、事業費	るものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場 名等			
事業は	ありませんか 類似の事業 類似の事業 類似の事業 業の手段(やいなど、交付先に 削減できない	?(市以外の はない はあるが、 があり、統 があり、統 (力方)を工夫で に働きかけて	の主体が実施する 統合又は連携 では連携できることで、事業費	るものを含む。) できない きる 費を削減できません	ih. 2	類似事業があ合の事務事業	る場 名等			
□ □ ·事務事 ·補助金	類似の事業類似の事業類似の事業業の手段(やしなど、交付先に)	はない はあるが、 があり、統 けか)を工夫。 「働きかけて	統合又は連携できることで、事業費	できない きる 貴を削減できません	<b>いか?</b>	ログ争の事条	<u> </u>			
· 事務事 · 補助金	類似の事業類似の事業業の手段(やいなど、交付先に)削減できない	はあるが、 があり、統 (かあり、統 (動きかけて	合又は連携でき	きる	<b>しか?</b>					
・事務事・補助金	業の手段(やりなど、交付先に	J方)を工夫で に働きかけて	することで、事業費	貴を削減できません	<b>いか?</b>					
·補助金 	削減できない	に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	貴を削減できません 域できませんか?	<b>いか?</b>					
	削減できない		、中の真正で削減	<b>吹てこよと</b> 7077・:	1.6	設計段階におい 他工事からの残	へて、工法の記 計法田を行る	羊細検討を領な	実施し、また、 山減を図ってい	造成用
						これ以上の削減	はできない。	//&C / 1 h	100 C [D] 5 CV	. 20 00 >
・事務事	業の手段(やり	)方)を工夫で	することで、人件妻	費(延べ業務時間)		事業に関しては の削減はできな		裁員数で担当	当している。よ	って、人
できませ・職員以	んか? 外の対応や委	託により人作	牛費を削減できま	せんか?	, and a	V2円1/吸いよ C ごは	. V .			
	削減できなし	۸,								
市政市	削減できる	_ 並 へ 豆 犬	と者に偏っている 確保されていま	±#/ b.o				_		_
また、う	是益者負担の	公平性が	確保されていま	ませんが: きすか?						
	公平·公正で									
	見直す必要	がある								
評価結	果 <pla< th=""><th>N&gt;(組績</th><th><b>战</b>決定)</th><th>[参考]前</th><th>年度の改革</th><th>政善の方向性≪</th><th></th><th>継続</th><th></th><th><b>&gt;</b></th></pla<>	N>(組績	<b>战</b> 決定)	[参考]前	年度の改革	政善の方向性≪		継続		<b>&gt;</b>
多事業 <i>の</i> 方向性	)改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト糸	縮小連	携 糸	充合	休止	廃」
クロリエ		0	0		0					
		行の効率性	生を維持すること	とに努めることにた	加え、事務	<b>努の細部に改善</b>	<b>着断がないた</b>	い点検、工夫	そを行うことと	する。
27年月 の内容	きの改									
むべき	課題)									
	r.=	÷	# 1.31 - 1.44	- % > 0 =11	□ fata _ \nder	- ) +6 Mb 2 Mb 2	3. 3. Harrista	o ====================================		4 No 111 A 3
			基本計画] に基	≲つき、公園・仏場	易等の適コ	上な整備を進め	、また、既存	公園施設の	女全催保と機	能保全(
28年月	である。									
- 1 H 17										
	果(担当部	<b>長評価</b> )								
評価結	\7b#	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト約	縮小連			休止	廃⊥
	/以車									
	)以車		1	1	1	L		1		
§事業0	以单									
系事業 <i>0</i> 句性	<b>ア以申</b>									
7. d	28年 28年 月 相目 標 価 結 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	28年度の方 組目標 平価結果 (担当音 事業の改革	28年度の方 組目標 「霧島市緑のめる。 ※平価結果 (担当部長評価) 事業の改革 継続	28年度の方 組目標 「霧島市緑の基本計画」に基 める。 平価結果 (担当部長評価) 事業の改革 継続 やり方改善	28年度の方 組目標 (担当部長評価) 事業の改革 機続 やり方改善 コスト拡充	「霧島市緑の基本計画」に基づき、公園・広場等の適立	28年度の方 組目標	28年度の方 組目標 (担当部長評価) 事業の改革 機続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 条	「霧島市緑の基本計画」に基づき、公園・広場等の適正な整備を進め、また、既存公園施設のめる。	「霧島市緑の基本計画」に基づき、公園・広場等の適正な整備を進め、また、既存公園施設の安全確保と機める。

事務	事業	0108050401010605	事 務事業名			☆園整備事業		担当		建設部
	<u>ード</u>	1// = 5	争未石					担当	<mark>課                                    </mark>	市計画課
9. =	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	F度 (決	(算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	酬								
2	給	料								
3		手 当 等								
4	共	済費								
5		子補 償 費								
7	_賃	金								
8	報	賞 費								
10	<u>旅</u> 交									
11	<u></u> 需	<u>际</u> 用 費			0			0		0
l		耗品費								
	燃燃									
	食									
		刷製本費								
	光	熱水費								
	修									
	賄									
	飼									
		薬材料費								
12	役	務費			2			0		0
		信運搬費								
	広手				2					
	保									
13	<u>  ^</u> 委	託料			3,607			0		7,500
14		<u> </u>			0,001					1,000
15		事請負費			15,625		57	,000		102,000
16	原	材料費								
17		財産購入費			87,520			0		
18	備品	品購入費			4,428					
19		補助及び交付金			1,237					
20	扶	助費								
21	貸	付金								
22		博 <b></b> 填及び賠償金 利子及び割引料								
23		カー及び割引料 及び出資金								
25	積	<u> </u>								
26	寄	<del></del> 附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金								
	計				112,419		57	,000		109,500
	特国	庫支出金			100,100			0		
財		支出金			0			0		
財源内訳	財地				10,455		54	,100		104,000
訳					1 964			000		F 500
	_	般 財源 計			1,864 112,419			,900 ,000		5,500 109,500
		国			112,419		- 37	,000		109,500
¥	輔助率	県						_		
補	助									
		全	P:0		立中で		記			
一八		₹補止"流用₹ □予算	<b>以近</b> 117,	700	一八八八	区分 区分	D/\	名称		金額
		<u>リア昇                                    </u>	117,	0	地方債	E-/J	合併特例債	'µ ነጥ		10,455
	1,0,11				国庫支出	金	がんばる地域	交付金		100,100

ヨ忉ア昇	117,700
補正予算	0
流用・充用	-3,445
予算合計	114,255

1 174-1 1 124 1 3 74 7 1 1 1 1 1 1 1		
区分	名称	金額
地方債	合併特例債	10,455
国庫支出金	がんばる地域交付金	100,100
		110,555

1. 基本	情報											
事務事	業	01080503	201020102	主	世 夕	またな	往 收 敕 借 車 类 ( )	司公山 山)		担当部	建設部	
コード							担当課	都市計画	<b> 町課</b>			
政策:	名	01	快適	で魅力あ	るまち~	づくり				グループ	都市整備	第G
施策	名	02	交通	体系の充	実					電話番号	45-5111	
基本事	業名	01	道路	ネットワー	クの構	築及び	道路施設の保全			内線番号	2881	
予	会計	一般	会計					<del>+ **</del>	□ 単年度のみ			
算	款	08	土木	費				事業期間	□ 単年度繰返 (開始 <sup>4</sup>	<b>手度</b>		
予算科目	項	05	都市	計画費				2411b1	■ 期間限定複数年度	( H24	~ H2	28 )
目	目	03	街路	事業費				根拠法令·条例等	都市計画法、道路法、土地	地収用法、都戸	5再生特別	別措置法
1 評価区	7分		簡易診	平価	評価:	対象	2次評価	関連計画				

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国分中心市街地の整備については、平成19年度から5ヶ年計画で作成した「都市再生整備計画(国分中央)」に基づき、都市計画道路や国分駅東口自転車駐車場などの整備を行ってきたところであるが、引き続き「都市再生整備計画(国分中央)2期」を作成し、国分中心市街地の活性化に向け整備を進めているところである。主な事業としては、平和通線、大追馬場線などの骨格道路の整備や中心市街地内の道路の拡幅のほか、バリアフリー化やカラー舗装などの高質化の整備を行い、快適性、安全性、回遊性を高め、市街地の活性化を図る。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	用地·補償件数		件	2	32	6	10	12
1	道路改良工事		m	0	15	85	100	155
ゥ	景観道路照明設置工事		式	1	Ī	-	_	-
(2	2) 事務事業の目的							
	<b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	道路利用者(車両及び歩行者)							
1	国分中心市街地							
ゥ								
	<b>意図</b>   ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	安全かつスムーズに通行できる							
1	訪れたい、住みたいと思わせる							
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	安全・快適に移動ができる	(本)(100)(100)		() 3/1947	() () ()	() 3/1947	(1-1/1/)	
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

都市計画決定より長期の年数が経過しているため、早期の事業完成を地元住民から要望されている。 特に道路が狭く、歩行者の通行や車の離合がしにくいことや都市計画法第53条の規定により建築制限が行われていることもあり、地権者からは早期の着手が要望されている。

4	Television de	-	ant.	<b><u></u> </b>			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	表現	W1	田伊			甲亚	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円	9,148	22,272	62,096	67,640	40,000
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	6,800	31,700	88,478	73,600	57,000
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	2,819	23,900	0
投入量			_	般	財	源	千円	7,871	9,038	1,848	3,960	3,000
   量		哥	業	費			千円	23,819	63,010	155,241	169,100	100,000

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

#### (2)平成26年度の成果

各事業において、用地調査、用地交渉、用地補償など、施工への準備を計画的に実施した。 用地買収件数 2件 用地買収面積 371.47㎡ 補償件数 5件

都市計画道路の平和通線については、整備工事を85m実施した。

平成26年度に実施した用地補償の実績によって、次期工区の工事を

行う段階となった。 また、平和通線の整備工事を実施した85m区間は、交通車両の安全性 を高めた。

Ę	事務	事業 -ド	01080	50301020102	事 務 事業名	まち交街路	各整備	事業(国	3分中央)		<u>当</u> 部 当 課		设部 計画課
6.	振り	返り <	<see></see>	•	7.11.12					122	理由		ПЦЖ
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	吉びついています	<sup>-</sup> か?						
			結びつ	いている									
A				に結びついてい	 \る								
的型			結びつ	いていない									
A目的妥当性	2	·この <sup>3</sup>	事業をな	ぜ市が行わなけ	ーーーーーーー ればならないの	<b>のですか?</b>							
		一	妥当で	て達成する目的  ある	109 11 1	_							
				 - 必要がある									
	3	成里が	治しず	る余地(可能性)	けありませんか	n 2							
						<u> </u>							
				「る余地はかなり 「 る余地はある程									
				る余地はほとん									
B 有	4)			ジ響はありません 	JJ) ' ?								
B有効性			影響が										
		 類似σ		ヾほとんどない  t象・意図)又は:	形能(イベントや)	啓発等)を持つ他。	の事務	米百人口	事業がある場				
	(5)	事業は	ありませ	んか?(市以外の	の主体が実施する	啓発等)を持つ他( るものを含む。)	のチャカ	合の	事業がある場 事務事業名等				
			類似の	事業はない									
				事業はあるが、									
				事業があり、統			4.0	部計	2.時において	丁注の	) 詳細 絵 :	討を実施して、。	- nコスト統減を
	6	•補助金	まの手段など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか? 	? ינני	図ってい	いるため、これ	以上の	削減はて	きない。	こり 一ノハー が旧が失る
			削減で	きない									
C 効率			削減で	きる				- <del></del>	- HB 11 B M	70 0 10	*P */ -	len vien	L. A. A. L. FE
半性	7	できませ	しんか?	役(やり方)を工夫で なや委託により人作		費(延べ業務時間)る せんか?	を削減	り用地で	交渉、工事監理	監督美	養務を勤!	担当している。。 務時間内に対応 削減はできない	ふすることで、人
		- 収貝/	削減で		十貝で削減できょ	EWW.:		円負の	抑削を11つて4	39, C	1010	/月1/00/14 くさ/より	<b>'</b> o
			削減で					:					
_	8			容が一部の受益	生者に偏っている	ませんか?							
公公				負担の公平性が 公正である	確保されていま	:すか? 							
公平性				び正である  '必要がある									
	4 184				6 NE 100 N								
/.	1次	評価粒	果 <	PLAN>(組絹	(决定)	【参考】前:	年度の改	革改善の方	向性≪		継続		<b>&gt;</b>
		多事業( 方向性		<b>継続</b>	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	ŕ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	休止	廃止
以音	当り.	刀叫生		0	0								
				現行の効率性	<b>とを維持すること</b>	に努めることを力	『え、事	務の細語	邪に改善箇所か	ぶないな	い点検を	行うこととする。	
		成27年月 の内容											
		かべき											
				特に平和涌線	は、全線整備	D下2号線の3路 完了する目前とな	こってい			や工事	事請負費	の予算確保を研	<b>筆実に行い、安</b>
(3)	平原	成28年月	度の方	■ 平和通線・・・	・・・・用地補償、	っていくこととす . 工事	る。						
向性	生・耳	双組目標	票	犬追馬場線・ 町の下2号線	・・・・委託、用地 ・・・・委託、用地	也補償 也補償、工事							
	02/2	=a bc&l	H /-	w to E Section									
8.	2次	評価結	果(狂	当部長評価)									
		多事業( 向性	の改革	継続 	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	¥	流合	休止	廃止
		. VIII											
(2)	総	評											
,_/	,	~.											

事務事業	0108050301020102	事 務 事業名	まち交待路線	整備事業(国分中央)	担当部	建設部
コード		事業名	。 。 。 。	三品子术(日分十八/	担当課	都市計画課
9. コスト(	の推移					
	(単位:千円)	平成26年	<b>拝度(決算)</b>	平成27年度 (当初予算)	) <del>ग</del>	成28年度(計画)
1 報	栖					
2 給	料					
	員手当等					
4 共	<u> </u>					
	害補償費					
7 賃	金 #					
8報9旅	償費_ 費				-	
9 <u>派</u> 10 交	<sub>]</sub> 際 費					
11 需	<u>际</u> 用 費		0		0	(
_	消耗品費		O O			
	然料費					
H	食 糧 費					
	印刷製本費					
	光熱水費					
-	修繕料					
	铕 材 料 費					
1	飼料費					
	医薬材料費					
12 役	務 費		0		0	(
ì	通信運搬費					
	太告料					
<b>⊢</b>	手数料					
	保 険 料					
13 委	託 料		6,869	Ç	9,600	
	料及び賃借料					
	事請負費		20,882	24	1,200	40,000
16 原	材料費		17.571	FC	2 000	05.004
	財産購入費 品 購 入 費		17,571	58	3,300	25,000
	四 時 八 貝 金補助及び交付金		0		0	
20 扶	助 費		0		0	
<u>20 1人</u> 21 貸						
	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		109,919	77	7,000	35,000
	金利子及び割引料		100,010		,	55,000
	資及び出資金					
25 積	立 金					
26 寄	<u> </u>					
27 公	課費					
28 繰	出 金					
計			155,241	169	),100	100,000
4± [	国庫支出金		62,096	67	,640	40,000
[17]	県 支 出 金		0		0	
財源 内部 「大学」	地 方 債		88,478		3,600	57,000
内源	その他		2,819	23	3,900	

## 補助基本額 平成26年度補正•流用状況

補助率

般 財 源

玉

県

当初予算	163,500
補正予算	-49,938
補正第7号	-49,938
流用・充用	-23,633
予算合計	89,929

#### 平成26年度特定財源内訳

1,848

155,241

40/100

155,240

平成20平度特定財源	泉内訳	
区分	名称	金額
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	62,096
地方債	合併特例債	88,478
その他	繰越金	2,819
	合 計	153,393

3,960

169,100

40/100

3,000

100,000

40/100

1. 基本	情報																		
事務事	01000501	108050301020104 事務事業名 新川北線街路整備事業												担当普	担当部 建設部				
	ド	<b>一种的一种的一种的一种的一种的一种的一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一</b>						<u>;</u>					担当記	果	都市	都市計画課			
政策名         01         快適で魅力あるまちづくり										グルー	プ	都市	整備G						
施策名 02 交通体系の充実											電話番	号	45-5	111					
基本事業名 01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全										内線番	号	2881							
予	会計	一般	会計			± **		単年	度の	み									
算	款	08	土木費						事業 期間	□ 単年度繰返 (開始 <sup>4</sup>				始年	度			年度~	~)
予 算 科 目	項	05	都市計画費						79][F]		期間	限定	複数年	F度(	H22	2	~	H28	)
目	目	03	街路事業費						根拠法令·条例等	都市計画法、道路法、土地収用法、都市再生特別措置法				置法					
評価区		簡易評	F価	評価	対象	1次評価	<b>H</b>	関連計画											

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標

#### (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

主要な幹線道路の交通渋滞の解消に寄与するとともに、都市交通ネットワークを構築するものである。

●本路線は、国分市街地と国道223号を結ぶアクセス道路である。本路線の整備により、市街地の東西幹線軸である国道10号および一般地方道北永野田小浜線の機能を補完し、主要な幹線道路の交通渋滞の解消に寄与するとともに、都市交通ネットワークを構築するものである。また、平成22年度に開校した天降川小学校に近接しており通学路にも指定されているが、歩道が整備されておらず歩行者の通行に支障を来しているため、両側歩道を整備し安全で快適な交通環境の整備を行う。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	用地·補償件数		件			13	21	-
1	道路改良工事		m			179	140	244
ゥ								
(2	:) 事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	市民							
1	街路							
ゥ	自動車の利用者・歩行者							
_	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	<ul><li>⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)</li></ul>	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア	通行の安全が確保できる。							
1	快適に移動できるようになる。							
ゥ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 ⑦ 基本事業の成果指標 25年度 26年度 27年度 単位 (さらにどのような成果に結びつくのか) (左記⑥意図の達成度を表す指標) (実績) (実績) (目標) (目標) ア 安全・快適に移動ができる ゥ

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

●新川北線の道路拡幅は、沿線近隣の各自治 会、及び小学校PTA等より、早期着工、早期完 成の要望が寄せられている。

4.	事訓	<b>类</b>	の‡	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
			国	庫ま	を出	金	千円			73,398	0	
l	事	財	県	支	出	金	千円			0	0	0
	事業費	財源内訳	地	<b>ナ</b>	5	債	千円			57,049	0	
	費	訳	そ	σ.	)	他	千円			2,543	0	
投			_	般	財	源	千円			866	0	
投入量		事	業	費			千円	0	0	133,856	0	#VALUE!
I –												
ı										_		

#### 5. 平成26年度の実績及び成果

#### (1)平成26年度の実績(取組)

#### (2)平成26年度の成果

用地調査、用地交渉、用地補償など、施工への準備を計画的に実施し、延長179mについて整備を実施した。 工事 用地交渉件数 3件 用地買収面積 450.58㎡

補償件数 10件

用地補償等に取り組み、工事施工の事前準備作業を計画的に実施し、 一部区間については、整備を実施し、道路利用者の快適な移動や安全 性を高めることができた。

Ą	事務事		01080	50301020104	事 務事業名	新川	北線街	路整備	事業	担 担 当			设部 計画課
6.	振り	区り <	<see></see>							I	里由		
	1	この事	務事業の	り目的は、基本	事業の意図に終								
			結びつ	いている									
A 目			間接的	に結びついてし	いる								
的妥			結びつ	いていない									
A目的妥当性	2	·この · 郑全:	事業をなった。	ザ市が行わなけ て達成する目的	ればならないの	<b>のですか?</b>							
		171.31	妥当で		1 C 9 73 · :								
				<u> </u>									
	3	成里が		5余地(可能性)	けなりませんか	n 2							
						, . 							
				る余地はかなりる余地はある程									
				る余地はほとん									
B 有	(4)	廃止•	休止の影 ———	響はありません 	ωか? 								
B有効性			影響が	ある 									
_		NT In .		ほとんどない			- + 7/2						
				家・意図)又は:		啓発等)を持つ他 ものを含む。)	の事務	類似合の	事業がある場 事務事業名等				
			類似の	事業はない									
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる							
	6	·事務事	事業の手段	と(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費 、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	いか?		階において、 いる。よって、こ			と実施して、より できない。	)コスト縮減
		•	削減で	きない									
C 効			削減で	きる									
率性	7	・事務事できませ	事業の手段	と(やり方)を工夫で	することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減	事業に用地交	関しては最低 渉、丁事管理	限の職員数	数で担当を勤務的	当している。また 時間内に対応	た、可能な  することで
Ι±		·職員以	以外の対応	や委託により人作	<b>牛費を削減できま</b>	せんか?		件費の	抑制を行って	いる。よって	て、人件	費の削減はて	きない。
			削減で	きない									
		= 7h =	削減で			±11.1.0		_			_		
D				容が一部の受益 担の公平性が									
D公平性			公平·	公正である									
IX.			見直す	必要がある									
7.	1次	平価結	果 <f< th=""><th>PLAN&gt;(組織</th><th>(決定)</th><th>【参考】前</th><th>年度の改造</th><th>直改善の力</th><th>方向性≪</th><th></th><th></th><th></th><th>&gt;</th></f<>	PLAN>(組織	(決定)	【参考】前	年度の改造	直改善の力	方向性≪				>
			の改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	ì	休止	廃止
改善	善のフ	与向性		0	0					0			
革	り 善り	り内容	度の改課題)	現行の効率性なお、この事	Eを維持すること 务事業は、平成	に努めることに 27年度から「街	加之、事 路整備	務の細語 事業」と	部に改善箇所 充合し、街路整	がないか点	対検を行中で事	rうこととする。 業を進める。	
				新川北線の用	月地補償、工事	等に取り組み、「	₽期完成	を目指す	す。				
(3) 向性	) 平成 生•取	28年月 組目相	度の方票										
8.	2次	平価結	果 (担	当部長評価)									
				継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合	<u></u>	休止	廃止
	手方		の改革		・ハ以音		1/1	41D.1.	<b>建</b> 1万	יוטנ ב	•		
(2)	)総	<b>評</b>				1	1			1			1

							10 V 40	7 th 2 11 day
事	务事∮ ı—ド	<b>業</b> 01080	050301020104	事 務 事業名	新川北	線街路整備事業	担当部担当課	建設部都市計画課
		の推利	Ż	<b>予</b> 术日			担当杯	和미리미타
<b>9.</b> .	-//							
			位:千円)	平成264	年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	3	平成28年度(計画)
1	報		怬					
2	給		料					
3		員 手						
4	共 "		費 費					
5 7	<u>火</u> 賃	古作	金					
8	報	償						
9	旅		費					
10	交	際						
11	需	用	費		0		0	0
			品 費					
			料費					
			糧 費					
			製本費					
			水 費 繕 料					
			料費					
			<u>11 员</u> 料 費					
			材料費					
12	役				404		0	0
		通信	運搬費					
			告 料					
			数料		404			
			<u> </u>		4.050			
13	委	託			4,372			
14 15		事請	び賃借料 計負費		65,580		0	
16	 原		<u>、                                    </u>		00,000			
17			購入費		12,648			
18		品購			,			
19	負担	旦金補助刀	及び交付金					
20	扶	助	費					
21	貸							
22			び賠償金		50,852			
23			ない割引料 出資金					
24 25								
26	寄							
27	 公							
28	 繰							
	計				133,856		0	0
			支出金		73,398		0	
財	特定財源		出金		0		0	
財源内訳	財  源		方 債		57,049		0	
訳	""		の他		2,543		0	
	_		財源		122.856		0	
		計	国		133,856 55/100		0	0
1	補助:	率	<u></u> 県		55/ 100			
ネi	助	」基	本 額		133,451			
			Har					

## 平成26年度補正•流用状況

当初予算	60,000
補正予算	-31,048
補正第7号	-31,048
流用・充用	20,559
予算合計	49,511

#### 平成26年度特定財源内訳

平成20平及特定射源内武								
区分	名称	金額						
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	73,398						
地方債	合併特例債	57,049						
その他	繰越金	2,543						
	· 合計	132,990						

# 平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

	1. 基本	情報											
I	事務事	業	0100050	301020106	主	华夕	往吸東	<b></b> 修備事業				担当部	建設部
ı	コー	ド	0100000	301020100	<b>#1</b> 5#:	*1	国阳五	三川 尹未				担当課	都市計画課
I	政策	名	01	快適	で魅力あ	るまち	づくり					グループ	都市整備G
I	施策	名	02	交通	体系の充	実						電話番号	45-5111
I	基本事	業名	01	道路	ネットワー	クの棒	毒築及ひ	ば路施設の保全				内線番号	2881
I	予	会計	一般	会計					+ *	_	□ 単年度のみ		
ı	算	款	08	土木	費				事業 — 期間	₹  }	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>年</sup>	F度 H	23 年度~)
ı	予 算 科 目	項	05	都市	計画費				7971=	IJ	□ 期間限定複数年度	(	~ )
I	目	目	03	街路	事業費				根拠法令·多	<b>₹</b> 例等	都市計画法、道路法、土地	地収用法、都戸	市再生特別措置法
I	評価区	7分		簡易記	平価	評価	対象	1次評価	関連計	一面			_

# 2. 事務事業の概要・目的・指標

## (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

- 主要な幹線道路の交通渋滞の解消に寄与するとともに、都市交通ネットワークを構築するものである。
  ●日当山線は、幹線街路で、未改良である国道10号から隼人塚団地入口付近までを幹線道路網の整備、生活道路への通過交通の流入対策および隼人中学校、鹿児島高専の学生の安全な登下校のための歩道確保等の整備を行う。
  ●街路新町線(奈良田団地交差点からの県道国分霧島線)の事業着手に伴い、街路新町線と街路参宮線(県道日当山敷根線)を結ぶ街路山崎線
- ●(仮称)姫城中央線は、街路参宮線と街路泉帯線を結ぶ南北の幹線道路を整備計画するものである。

ิด	) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	1130日本(五四五木の旧30里)		<b>-</b>	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	用地•補償件数		件	43	7	10	8	2
1	道路改良工事		m	282	-	-	_	100
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
_	) <b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	<ul><li>③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)</li></ul>	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
	市民	(工品の内象の人ででと気 ) 旧味/		(天/)與/	(天/)與/	(天/)英/	()[,2]	()[22)
イ	街路							
ゥ	自動車の利用者・歩行者							
_	) <b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	<b>25年度</b> (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	通行の安全が確保できる。							
1	快適に移動できるようになる。							
ゥ								
(3	3) 上位の基本事業							
	) 基本事業の意図 さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	安全・快適に移動ができる							
1								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

ゥ

●日当山線の道路拡幅は、富隈地区自治公民 館や鹿児島工業高等専門学校より、早期着工、 早期完成の要望が寄せられている。

4	Table 4	-	ant.	推移			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
4.	777	表現	W1	任何			<b>单</b> 位	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫3	支出	睁	千円	6,672	56,645	21,831	74,525	81,730
	事 期 源 内 訳 の で の 他		県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
			千円	33,000	44,000	16,886	29,300	63,400				
	費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	549	30,000	0
投入量			_	般	財	源	千円	1,939	3,966	2,643	1,675	3,470
量		哥	事業費				千円	41,611	104,611	41,909	135,500	148,600
Γ												

## 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組)

### (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載ご

各事業において、用地調査、用地交渉、用地補償など、施工への準備 を計画的に実施した。 用地買収件数 5件 用地買収面積 386.80㎡ 補償件数 5件

日当山線は用地補償等に取り組み、工事施工の事前準備作業を計画

日 当山豚は川上町県 サロルバル・ハー・ 的に実施した。 山崎線は、県と受託合併契約を行い、県が県道新町線を合わせ設計 業務を行い、成果として都市計画決定や用地補償の調査が完了し、翌 年度からの土地所有者との交渉も可能となった。

Ę	事務コー	事業 ド	01080	50301020106	事務事業名	ŕ	<b></b> 野路整	備事業		担当担当	部課		設部 計画課
6.		-	<see></see>		7.7.1						曲	זיוייום	11 四床
					事業の意図に終	吉びついています	<sup>-</sup> か?						
			結びつ	いている									
A				 に結びついてい	 \る								
的亞	П		結びつ	いていない									
A目的妥当性	2			ぜ市が行わなけ		<b>のですか?</b>							
II		□ 祝金	を投入し 妥当で	て達成する目的	1692017								
	Н			。。  ·必要がある									
	2			<del>2 (                                   </del>	けをいませんも	w 2							
						)· :							
	Н			る余地はかなり									
	Н			る未地はのるた 									
							_						
B有効性	4)			/響はありません	ンか? 								
効性	L		影響が										
		米五小八		はとんどない	エンイイトヒ / ノベヽ.1 より	啓発等)を持つ他(	の車数	¥≅ /\\	車券がも 2 48				
	5	事業は	ありませ	「多・息凶)又は、 「んか?(市以外(	の主体が実施する	されず)を持つ他のものを含む。)	の争伤	合の	事業がある場事務事業名等				
			類似の	事業はない									
				事業はあるが、									
				事業があり、統			1: 0	글자 글 L FN	:階において、コ	ナル学知	かきむ 生	加ァ H	ハコフト統治な
	6	・補助:	事業の手段 全など、交	ば(やり万)を工夫で付先に働きかけて	、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか? 	? ימי	図って	いる。よって、こ	れ以上の情	削減はでき	きない。	プログトが旧り残る
			削減で	きない									
C効率			削減で	きる				-t- 116 x		n - ***	- In str		2
率性	7	できまt	せんか?	设(やり方)を工夫で なや委託により人作		貴(延べ業務時間)を サイから	を削減	用地交	関しては最低原 渉、工事管理盟 抑制を行ってい	监督業務を	勤務時間	内に対応	することで、人
		*戦員	削減で		十貝で削減できま	200° :		件負の	抑制を打つ(V	。 い。 よって	、八什有	V2月1/00(よく	1.51% i.º
			削減で					1					
_	<u>(R)</u>	事務事	業の内	容が一部の受益	者に偏っている	ませんか?							
D公平性		<i>5/-</i> \	<u> </u>	(JE 0) A   IE 10	確保されていま	:すか? 							
性	H			公正である  '必要がある									
	4 14				A SE prints								
/.	1次	評価報	:果 く!	PLAN>(組絹	(决定)	【参考】前:	年度の改	革改善のプ	方向性≪		<b>迷続</b>		>
		務事業 方向性	の改革	継続 —————	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合		休止	廃止
以音	当()	<i>7</i> 7 IPJ 13		0	0					<u> </u>			
				現行の効率性 なお、平成27	tを維持すること 年度から、「新」	に努めることにか   北線街路整備	叩え、事 事業」も	務の細治事務	部に改善箇所が 事業に加わる。	ぶないか点	検を行うこ	こととする。	
		成27年 の内容											
		むべき											
				日当山線の月	地補償、工事	等に取り組み、早	期完成	を目指	す。				
(3)	)平月	<b>龙28年</b>	度の方										
[P] <sup>(</sup> [	王•月	<b>文組目</b> 相	罘										
8	2 /r	評価紀	里 (北	当部長評価									
				継続	The Control of			(at 1	N== 124	61.5		休止	廃止
(1)	事	務事業 向性	の改革	<b>ቀ</b> ድ ቀንር	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携	統合		NVTT.	光工
(2)	)総	評											

	条事業 一ド	0108050301020106	事 務 事業名	街	路整備事業	担当音	
		14.7h	尹未石			担当護	都市計画課
9. =	コストの	)推移					
		(単位:千円)	平成26	年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)		平成28年度 (計画)
1	報	栖					
2	給	料					
3		手当等					
4	共	<u> </u>					
5 7		ぎ 補 償 費 金					
8	 報						
9	<del></del> 旅						
10	<u>茨</u>	際費					
11	需	用 費		0		0	0
	_	月耗 品費					
	炒						
	食						
	_	別製本費					
	光						
	修 財						
	館						
		·····································					
12	役	務費		0		0	0
		<b>鱼信運搬費</b>					
	戊	告 料					
	手	生数料					
	伢						
13		託 料		16,527	1	800	2,000
14		料及び賃借料			0.4	000	
15 16		事 請 負 費 材 料 費		0	24	900	
17		財産購入費		11,018	38	800	32,500
18		品購入費		11,010	30	000	32,300
19		補助及び交付金					
20	扶	助 費					
21	貸	付 金					
22	補償补	甫填及び賠償金		14,364	70	000	114,100
23		利子及び割引料					
24		及び出資金					
25	積	<u>立</u> 金 附 金					
26 27	<u>寄</u> 公	附   金     課   費					
28	 繰	<del>                                     </del>					
-5	計	PH 71		41,909	135	500	148,600
	I T	1庫支出金		21,831		525	81,730
B÷	特定財源			0		0	
財源内訳	財地	也 方 債		16,886	29	300	63,400
内記	7			549		000	
D/C	_	般 財源		2,643		675	3,470
		計		41,909	135		148,600
*	甫助率	国		55/100	55/	100	55/100
補		県		39,693			
		基本額					
平成	26年月	度補正・流用∜	た況	平成26年	度特定財源内訳		

当初予算	205,700
補正予算	-10,554
補正第7号	-10,554
流用・充用	3,074
予算合計	198,220

十队20千及行足别源	MIN	
区分	名称	金額
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	21,831
地方債	合併特例債	16,886
その他	繰越金	549
		39,266
		•

				7 /2	<del>, 2 / +</del>	<u> </u>	<b>尹勿尹未派</b>	<u> </u>	(干风20干及 美胞争)	未の派巡り			
1. 基本	情報												
事務事	<b>事業</b>	0107010	203020210	車茲車	<b>柴夕</b> 山	1.2.4	<b>法批</b> 法批 <b>业</b> 事类	(本) 中計画は	田 /	担当部	建設部		
<u>コード                                    </u>								世 <b>当課</b> 都市計画課					
政策	名	03	活力	ある産業の	つまちづく	くり				グループ	都市整備グ	ループ	
施策	名	02	商工	業の振興						電話番号	45-5111		
基本事	業名	02	買い	物のしやす	上い環境	色の確	保			内線番号	2881		
予	会計	一般	会計					古 **	■ 単年度のみ				
算	款	07	商工	費				事業 期間	□ 単年度繰返(開始 <sup>4</sup>	<b>手度</b>			
予算科目	項	01	商工	費				₩]IEJ	□ 期間限定複数年度	(	~	)	
目	目	02	商工	業振興費				根拠法令·条例等					
評価区	⊠分		簡易評	平価	評価対	象	1次評価	関連計画			·	·	
O 151 3/4	reter alle	<b>↑ 4m</b> 1	er 🗆	ᄷᆉᆉ	<b>/</b> D								

(1) 学研学来の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述) 霧島市における新たな中心市街地活性化計画の策定に向け、中心市街地において低未利用状態にある拠点地区(Dブロック)の活用策を検討するとともに、国、県等の関係機関との協議を行う事業である。 本事業の概要は以下のとおり。 「霧島市中心市街地まちづくり協議会(仮称)」の開催 ・協議会構成:地権者、商工会議所、行政10名程度 ・協議会開催時期:3回

1	) 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
Ľ			—	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	協議会等開催【地権者等との行政協議	を含む】				4		
1	国等との協議【相談等を含む】					8		
ゥ								
(2	2) 事務事業の目的							
2	対象	③ 対象指標	34 / <b>T</b>	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(	誰、何を対象にしているのか)	(左記②対象の大きさを表す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	市民							
1	中心市街地							
ゥ								
4	意図	⑤ 成果指標	224 / L	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
((	②対象をどうしたいのか)	(左記④意図の達成度を表す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア	活性化する。(賑わう)							
1								
ゥ								

## 上位の基本事業

,	ノエロの坐や予末							
_	基本事業の意図 らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	<b>25年度</b> (実績)	26年 <b>度</b> (実績)	<b>27年度</b> (目標)	28年度 (目標)
ア	商店街・通り会が賑わう							
1	環境が整い買い物がしやすくなる							
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

地権者:現時点での土地の活用は検討していないとの回答をいただく。 関係団体等の協議を行ったが、事業ありきで、 まちづくり会社を設立してまで、中心市街地活性化基本計画を策定する意味はないとの意見 がある。

1	1000 100	* 曲	ω±	# 22			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
7	4. 事業費の推移						丰四	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			玉	庫は	と出	睁	千円			0	0	0
	事	財 県 支 出 金				金	千円			0	0	0
	事業費	財			千円			0	0	0		
	費	訳	そ	Ø	)	他	千円			0	0	0
投入量			_	般	財	源	千円			136	0	0
量		哥	業	費			千円	0	0	136	0	0

# 5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

# (2)平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

○地権者との協議2回、商工会議所メンバーとの協議等2回。 ○中心市街地活性化基本計画関係相談2回、中心市街地活性化施策 関係出会4回、経済産業省施策関係出会2回。

○中心市街地活性化計画策定は、困難であることを把握した。
 ○平成26年度は、情報収集を行うなかで、商工会議所等を通じ、経済産業省の国庫補助金がソフト事業などで採択されていることから、事業名"まちざミ"などが定着することが見込まれる。
 ○効果的事業提案等をできないことから、中心市街地の賑わいを直接取り戻す効果は得られなかった。

I	事務事業コード	01070	10203020210	事 務事業名	中心市街地流	舌性化₹	事業(都市計画課)	担当担当			设部 計画課
<b>6.</b>	振り返り <	(SEE>						;	浬 由		
	① この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に網	昔びついています	か?					
		結びつ	いている								
A			・・・・・ 」に結びついてい								
目的			いていない								
A目的妥当性			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	カばならないの	 )ですか?						
性	② ・税金を	投入し	て達成する目的	ですか?							
		妥当で	ある 								
		見直す	必要がある								
	③ 成果が	向上する	る余地(可能性)	はありませんか	۱3						
		向上す	 る余地はかなり	 ある							
		向上す	 る余地はある程	 !度ある							
		向上す		 どない							
	<b>(A)</b>		/響はありません								
B有効性				)							
効  性		影響が									
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	615							
	⑤ 類似の	目的(対	対象・意図)又は ○んか?(市以外の	杉態(イベントや原 D主体が実施する	啓発等)を持つ他( ものを含む。)	の事務   	類似事業がある場 合の事務事業名等				
		類似の	事業はない								
		類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない						
		類似の	事業があり、統	合又は連携でき	<u></u> きる						
	6 事務事	業の手段	と(やり方)を工夫で	することで、事業費	を削減できません ばできませんか?	か?					
		削減で		、中の英語と問題							
c		削減で									
C効率性				けることで、人件型	(延べ業務時間)を	を削減					
性	(7) できませ	んか?	なや委託により人作			_11111120					
		削減で	きない								
		削減で	: きる								
ב			容が一部の受益 負担の公平性が								
D公平性	T = 12.5		公正である	はいていている	7.73						
性											
7	1分配压结	<b>B</b> /r	コ	(4) 中)							
7.	次計画和:	<b>米</b> (1	PLAN>(組箱	(灰足)	【参考】前4	年度の改革	改善の方向性≪				<b>&gt;</b>
	)事務事業の 等の方向性	D改革	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小連携	統1	<b></b>	休止	廃止
以音	当の方向注										
(2)	)平成27年度	度の改									
(取	改善の内容 り組むべき	課題)									
,	\ <del></del>	T 6 = 1									
(3)	) 平成28年度 生·取組目標	りの方									
8.	2次評価結	果(担	当部長評価)								
(1)	)事務事業 <i>0</i>	1350	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小連携	統領	<u> </u>	休止	廃止
改善	善方向性	- <del>-</del>						-,,,,,,			
(2)	)総 評										
			I								

事務	事業 -ド	01070102030202	事務事業名	中	心市街地活	性化事業(都市	計画課)	担当担当		建設部 都市計画課
9. ⊐⊅	ストの	 推移								
		(単位:千円	平成26	年度 (決	快算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年	F度 (計画)
	報	州西								
	給	料								
		手当等								
	共 ※ <b>事</b>	済費								
	<u>火 百</u> 賃	金								
	<del>至</del> 報	 								
	旅	費			136			0		
	交	際 費								
11	需	用 費			0			0		0
		耗品費			0			0		
	燃食	料   費     糧   費								
		刷製本費								
		熱水費								
	修	繕 料								
	_	材料費								
	飼	料費								
12	<u></u> 役	薬材料費 務 費			0			0		0
'2		信運搬費			0			0		0
	広	告 料								
	手	数料								
	保	険 料								
-	委	託 料								
		及び賃借料								
		請負費材料費								
		材 料 費 財産購入費								
		, 購入費								
		補助及び交付金								
	扶	助費								
	貸	付 金								
		填及び賠償金								
		<sup>利子及び割引料</sup> 及び出資金								
	積	<del>文の山貞立</del> 立 金								
	寄	 附 金								
	公	課費								
	繰	出 金								
	計	A			136			0		0
#	時層	庫支出金支 出金			0			0		
財源					0			0		
財源内訳	原を	<u></u>			0			0		
訳		段 財源			136			0		
		計			136			0		0
補	助率	国								
	助	県 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *								
			db an			de 4+ e+ 0.1 ver -+ =				
平成2		補正▪流用 <mark> 予算</mark>	<b>水沈</b>	870		度特定財源内記 区分	Γ.	名称		金額
		<u>ア昇</u> 予算		<del>-500</del>				口仰		並似
		E第7号		-500						
				$\overline{}$						
	·+-	<b>_</b>								
	流用	• 充用								

予算合計

	27年度 事	<b>事務事業振</b> 』	区りシー	<u>,</u> ( <u>z</u>	平成26年度	実施事業の	)振返り)		
1. 基本情報 事務事業							担当部	建設部	
コード 010805019999901 事務事業		関係各種協議:	会等参画	事業			担当課	都市計画課	
政策名1快適で魅力あるま施策名1生活基盤の充実							ブループ <b>電話番号</b>	都市計画G 45-5111	
基本事業名 3 地域にあった土地		秀導						2872	
表計     一般会計       算     款     08     土木費       科     項     05     都市計画費			事業期間	•	単年度のみ 単年度繰返 期間限定複	(開始年度	s	36 年度~	~)
目 目 01 都市計画総務費		(	根拠法令・条例	等	Milenes =				
	平価対象 /	1次評価	関連計画	<u> </u>					
2. 事務事業の概要・目的・指標 (1) 事務事業の概要(具体的なや)	<b><do></do></b> の方、手順、詳細	田を記述)							
●公益財団法人 都市計画協会(以下 協会は、大正6年に設立された「都市研 している。	「協会」という。) 究会」を起源とし	し、昭和21年に則		都市計画	画協会」となり	、平成24年	4月1日から	公益財団法	人に移行
本市の協会加入については、旧国分市協会からは、協会が発行する月刊誌(第 ほかにも、まちづくりセミナーやまちづく	(都市)の配布が	あり、都市計画は	に係る最新	情報、好公共団	も進事例及で 体の取組や	ド関連施策の 課題等の情	り紹介等の作報を得る機会	青報を得てい 会を設けてい	る。 る。
① 活動指標 (事務事業の活動量)				単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア研修会等への参加				口	()~10~	()<130)	0	0	1
1									
ゥ									
(2) 事務事業の目的									
② 対象	③ 対象指			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何を対象にしているのか)	(左記②対	対象の大きさを表	す指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア 都市計画事業									
1									
<u></u>	2 2 10 11								
<ul><li>④ 意図</li><li>(②対象をどうしたいのか)</li></ul>	<b>⑤ 成果指</b> (左記④章)	<b>i標</b> 図の達成度を表	おお煙)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度   (目標)	28年度 (目標)
ア円滑に進む。	(AL) HOW SOLE	AVENIZES.	7 10 000		(Xibt)	()	()/////	(HW)	(H-DA)
1									
ゥ									
(3) 上位の基本事業									
⑥基本事業の意図		業の成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのような成果に結びつくのか)	(左記⑥意	図の達成度を表	す指標)	千匹	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア適切な土地利用がなされる									
1									
<mark>ゥ</mark>									
3. 事務事業の環境変化・市民意見	1 4 4	事業費の推移		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などか特になし	らの意見等)		支 出 金	千円	(決算)	(決算)	(決算)	(計画) 0	(計画)
			出金	千円			0	0	0
			方 債	千円			0	0	0
			別して、他は対象を	千円			0 171	0 171	171
	投   入	事業費	741 11/1	千円	0	0	171	171	171
5. 平成26年度の実績及び成果									
(1)平成26年度の実績(取組)	取組内容を数値等	により具体的に記載>	~ (2)平	成26年	■度の成果	<左記	の実績(取組)に	こよる成果を記載	₹>
協会が発行する月刊誌(年12回)より都 ることができた。	市計画に関する	う最新情報等を得			する最新情幸 とができた。	最を得ること	で、今後の者	都市計画事刻	業への参

	<u> </u>	-		50199999901	事務事業名	都市計画関	係各種協議会	等参画事業	担当部担当課		計画課
6.	振り	返り <	<see></see>						理由	3	
	1	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	か?				
			結びつ	いている			_				
습			間接的	こに結びついて	 いる						
ショ			結びつ	いていない							
A目的妥当性	2	•この <sup>®</sup>	事業をな	ぜ市が行わなり	 ナればならないの	 のですか?					
生		_		て達成する目的	りですか? 		_				
			妥当で				_				
	_			必要がある		_					
	(3)	一	「同上す・	る余地(可能性 	()はありませんか 	) <sup>'</sup> ?	_				
				る余地はかなり							
				る余地はある種							
			同上す	る余地はほとん	<b>んどない</b>						
물	4	廃止∙ℓ	休止の景	ジ響はありません 	んか? 						
B有効性			影響が	<b>ずある</b>							
_				「ほとんどない							
	5	類似の事業は	)目的(対 :ありませ	付象・意図)又は ∵んか?(市以外	、形態(イベントや) ・の主体が実施する	啓発等)を持つ他 るものを含む。)	の事務 類情	以事業がある場 の事務事業名等			
			類似の	事業はない							
			類似の	事業はあるが	、統合又は連携	できない					
			類似の	事業があり、紛	統合又は連携で	きる					
	6	·事務事 ·補助金	事業の手具	殳(やり方)を工夫 付先に働きかけて	することで、事業費 て、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か?	は協会の理事会	で決定するため	り、削減できない	( ) <sub>0</sub>
			削減で	きない							
C			削減で	きる							
如											
効	(7)				することで、人件費	と (延べ業務時間)	を削減 会費で	であるため、削湯	えできない。		
効	7	できませ・職員以	せんか? 以外の対応	设(やり方)を工夫 なや委託により人	することで、人件書件費を削減できま		を削減会費	であるため、削減	えできない。		
効	7	できませ・職員以	けんか? 以外の対応 削減で	役(やり方)を工夫 なや委託により人			<mark>を削減</mark> 会費・	であるため、削減	えできない。		
効		できませ ・職員以 ■	はんか? 以外の対応 削減で 削減で	设(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない	件費を削減できま	せんか?	を削減会費	であるため、削減	すできない。		
効率性	7       8	● 事務事	はんか? 以外の対応 削減で 削減で 事業の内 受益者	<mark>な(やり方)を工夫ないを託により人</mark> できない できる をが一部の受力 も担の公平性が		せんか?	<b>を削減</b> 会費	であるため、削減	文できない。		
効率性		● 事務事また、	はんか? 以外の対応 削減で 削減で 事業の内 受益者	役(やり方)を工夫 むや委託により人 きさい きる 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である	件費を削減できま	せんか?	を削減 会費	であるため、削減	すできない。 -		
効率性 D公平性 D公平性 D	8	できませい。	はんか? 以外の対応 削減で 事業の内 事業 公 見直す	役(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない きる 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である で要がある	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま	せんか?	を削減 会費	であるため、削減	<b>えできない。</b>		
効率性 D公平性 D公平性 D	8	できませい。	はんか? 以外の対応 削減で 事業の内 事業 公 見直す	役(やり方)を工夫 むや委託により人 きさい きる 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま	ませんか?	を削減 会費		マできない。 -		<b>&gt;</b>
<b>効率性</b>	8 1次 事剂	で・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	はかか? 対	役(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない きる 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である である	件費を削減できま 益者に偏っている 確保されていま	ませんか?			できない。	休止	≫ 廃止
<b>効率性</b>	8 1次 事剂	で・職■□務た・□	はかか? 対	Q(やり方)を工夫 なや委託により人 きさない きる 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である ・必要がある	件費を削減できま 益者に偏っている 強保されていま	せんか? ませんか? すか?	年度の改革改善の	方向性≪		休止	
<b>効率性</b>	8 1次 事剂	で・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	はかか? 対	<b>Q(やり方)を工夫</b> ない きさい きる 容が一部の受済 負担の公平性が 公正である ・必要がある PLAN>(組織 機続	件費を削減できま  益者に偏っていき  強決定)  やり方改善  本市は協会に加	せんか? ませんか? すか?  【参考】前  コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性 D公平性</b> 7. (1) き (2)	8 事務	できませい。	は外の対域 では 対象 は 対	<b>Q(やり方)を工夫</b> ない きさい きる 容が一部の受済 負担の公平性が 公正である ・必要がある PLAN>(組織 機続	件費を削減できま  益者に偏っていき  強決定)  やり方改善  本市は協会に加	ませんか?すか?	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性</b>	8 事	で・職・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は外の対域では対域では、対域では、対域が対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、	<b>Q(やり方)を工夫</b> ない きさい きる 容が一部の受済 負担の公平性が 公正である ・必要がある PLAN>(組織 機続	件費を削減できま  益者に偏っていき  強決定)  やり方改善  本市は協会に加	せんか? ませんか? すか?  【参考】前  コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性</b>	8 事	できませり 事また 日	は外の対域では対域では、対域では、対域が対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、	<b>Q(やり方)を工夫</b> ない きさい きる 容が一部の受済 負担の公平性が 公正である ・必要がある PLAN>(組織 機続	件費を削減できま  益者に偏っていき  強決定)  やり方改善  本市は協会に加	せんか? ませんか? すか?  【参考】前  コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性</b>	8 事	できませり 事また 日	は外の対域では対域では、対域では、対域が対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、対域では、	<mark>役(やり方)を工夫</mark> ない きる。 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 軽続 O 昭和36年からま	件費を削減できま  益者に偏っていき  強決定)  やり方改善  本市は協会に加	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性</b>	8 事の 平善 組	で・職 ■ 事また □ □ 新 事	は外の対域では、対域の大きのでは、対域のでは、対域の大きのでは、対域のでは、対域のでは、対域の大きのでは、対域のでは、対域の大きのでは、対域のは、対域のでは、対域のでは、対域のは、対域のは、対域のは、対域のは、対域のは、対域のは、対域のは、対域の	<mark>役(やり方)を工夫</mark> ない きる。 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 軽続 O 昭和36年からま	件費を削減できま  益者に偏っている  確保されていま  やり方改善  やり方改善  本市は協会に加 でと同様に協会	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性 D公平性</b> 7. (1)き (2)草取 (3)	1次事のご 平善組	できませり 事また 日	はかかの対 削削 単益 公見 果 改 の 題 の の の の の の の の の の の の の の の の の	<mark>役(やり方)を工夫</mark> ない きる。 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 軽続 O 昭和36年からま	件費を削減できま  益者に偏っている  確保されていま  やり方改善  やり方改善  本市は協会に加 でと同様に協会	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性 D公平性</b> 7. (1)き (2)草取 (3)	1次事のご 平善組	で・職 ■ □ 事また □ □ 新た □ □ 新た □ □ 本	はかかの対 削削 単益 公見 果 改 の 題 の の の の の の の の の の の の の の の の の	<mark>役(やり方)を工夫</mark> ない きる。 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 軽続 O 昭和36年からま	件費を削減できま  益者に偏っている  確保されていま  やり方改善  やり方改善  本市は協会に加 でと同様に協会	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性</b>	1次 事の アーチ 単一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で・職 ■ 事また □ □ 新 事	は外の対域では、対域の対域では、対域の対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対	<b>Q(やり方)を工夫</b> ない きる 容が一部の受が 負担の公平性が 公正である PLAN>(組織 の の の の の の の の の の の の の	体費を削減できま  益者に偏っていま  確保されていま  やり方改善  本市は協会に加  でと同様に協会へ	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性</b>	1次 事の アーチ 単一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で・職 ■ □ 事また □ □ 新た □ □ 新た □ □ 本	は外の対域では、対域の対域では、対域の対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対	<mark>役(やり方)を工夫</mark> ない きる。 容が一部の受持 負担の公平性が 公正である 必要がある PLAN>(組織 軽続 O 昭和36年からま	体費を削減できま  益者に偏っていま  確保されていま  やり方改善  本市は協会に加  でと同様に協会へ	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性</b>	8 1次 事の ア善組 アー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー	で・職 ■ 日 務た 日 価 業性 年 存さき 年 様 様 乗 手 様 な な な な な な な な な な な な な な な な な な	は外の対域では、対域の対域では、対域の対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対域が対	<b>Q(やり方)を工夫</b> ない きる 容が一部の受が 負担の公平性が 公正である PLAN>(組織 の の の の の の の の の の の の の	体費を削減できま  益者に偏っていま  確保されていま  やり方改善  本市は協会に加  でと同様に協会へ	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充	年度の改革改善のコスト縮小	方向性≪	統合		廃止
<b>効率性</b>	8 1次 事の ア善組 アー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー	で・職 ■ 事ま □ 番	は外のの減減減の内害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>役(やり方)を工夫</b> なや委託により人 きさい きさる 容が一部の受持 担切の公平性が 公正である ・必要がある ・PLAN>(組制 ・	件費を削減できま  益者に偏っていま  確保されていま  やり方改善  本市は協会に加  でと同様に協会  て加入の方向で	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充 は入しており、今ま での加入を継続	年度の改革改善のコスト縮小とでも様々な都する。	→方向性≪連携	統合	ことが可能にな	廃止っている。
<b>効率性</b>	8 1次 事の ア善組 アー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー	で・職 ■ 日 務た 日 価 業性 年 存さき 年 様 様 乗 手 様 な な な な な な な な な な な な な な な な な な	は外のの減減減の内害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>役(やり方)を工夫</b> なや委託により人 きさい きさる 容が一部の受持 担切の公平性が 公正である ・必要がある ・PLAN>(組制 ・	件費を削減できま  益者に偏っていま  確保されていま  やり方改善  本市は協会に加  でと同様に協会  て加入の方向で	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充 は入しており、今ま での加入を継続	年度の改革改善のコスト縮小とでも様々な都する。	→方向性≪連携	統合	ことが可能にな	廃止っている。
<b>効率性</b>	8 平 事の 平 事の 平 事の 平 事の 事の 平 事の 事の の 平 事の の の の に 。 に 。 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	で・職 ■ □ 務た □ □ 結 業性 年容さ	は外のの減減減の内害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>役(やり方)を工夫</b> なや委託により人 きさい きさる 容が一部の受持 担切の公平性が 公正である ・必要がある ・PLAN>(組制 ・	件費を削減できま  益者に偏っていま  確保されていま  やり方改善  本市は協会に加  でと同様に協会  て加入の方向で	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充 は入しており、今ま での加入を継続	年度の改革改善のコスト縮小とでも様々な都する。	→方向性≪連携	統合	ことが可能にな	廃止っている。
<b>効率性</b>	8 1次 事の ア善組 アー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー	で・職 ■ □ 務た □ □ 結 業性 年容さ	は外のの減減減の内害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>役(やり方)を工夫</b> なや委託により人 きさい きさる 容が一部の受持 担切の公平性が 公正である ・必要がある ・PLAN>(組制 ・	件費を削減できま  益者に偏っていま  確保されていま  やり方改善  本市は協会に加  でと同様に協会  て加入の方向で	せんか? ませんか? すか? コスト拡充 コスト拡充 は入しており、今ま での加入を継続	年度の改革改善のコスト縮小とでも様々な都する。	→方向性≪連携	統合	ことが可能にな	廃止っている。

事務事業 010805019999990	事 務事業名	都市計画関係	担当部担当課	建設部 都市計画課	
9. コストの推移					
(単位:千円)	平成26年	丰度 (決算)	平成27年度(当初予算	) 平	成28年度(計画)
1 報 酬					
2 給 料					
3 職員手当等 4 共 済 費					
5 災害補償費					
7 賃 金					
8 報 償 費					
9     旅     費       10     交     際     費					
11 需 用 費		0	)	0	0
消耗品費					
燃 料 費     食 糧 費					
印刷製本費					
光熱水費					
修繕料					
<u>期 材 料 費</u> 飼 料 費					
医薬材料費					
12 役 務 費		0		0	0
通信運搬費					
<u>広 告 料</u> 手 数 料					
保険料					
13 委 託 料					
14使用料及び賃借料15工事請負費					
15 工事請負費   16 原 材 料 費					
17 公有財産購入費					
18 備品購入費					
19 負担金補助及び交付金 20 扶 助 費		171		171	171
21 貸 付 金					
22 補償補填及び賠償金					
23 償還金利子及び割引料					
24投資及び出資金25積立金					
26 寄 附 金					
27 公 課 費					
28 繰 出 金計		171		171	171
		0		0	171
	:	0		0	
財源内訳 特定 財源 その これ は できまる は かいま は いいま いいま		0		0	
内記     ボーク       一般財源	3	0 171		0 171	171
計		171		171	171
補助率					
補助基本額					
平成26年度補正•流用	<del>                                     </del>	平成26年	┗ F度特定財源内訳		
当初予算		171	区分	名称	金額
補正予算		0			
流用・充用					
予算合計		171	 合 計		0

1. 基本情報			戊27年								度 実施事業			
事務事業	01080503999999	事 楽事	業名 街	・松耳	<b>丰</b> 業	盟存	系各種協議	全等表面	軍事業			担当部	建設部	
コード	0.1 141				<i></i>	1/4/1/1	( I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	14 (19)	4 F /K			担当課	都市計画部	
		適で魅力ある 通体系の充		(り								グループ 電話番号	都市整備ク 45-5111	バルージ
		路ネットワー		及で	が道界	8施	設の保全					内線番号	2881	
A -1	一般会計		× 1117K	.,,,	- X= P	диш	X ·> PN II		[	□単年度の	み	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2001	
算 款	08 土	木費						事業期間		■ 単年度繰	返 (開始年	度 S	59 年度	~)
科 項		<b>市計画費</b>								□期間限定	複数年度(		~	)
		路事業費		- 在		1.7	<b>ムボ/ボ</b>	根拠法令・条						
評価区分		· 評価	評価対		_	16	欠評価	関連計	凹					
. 事務事業					=24.4	vm-≱ ÷	5-1 \J\							
(1)事務事								の参画車	**でなり	) 台田 分む	古山 协議/	今へ参画して	しいる	
昭和59年2月 事務局:鹿児 目的は、都市	島県都市	計画課 会	員:29市	町が	参画	X   1	5路事業実	施市町の	組織であ	る。	又山し(肺成)	云・	v	
ጅ換を行い、居	知古動を	行9。												
D 活動指標	!(事務事	業の活動量	:)						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度
<b>ア</b> 陳情活動・要	E望活動•+	ミナー受講等	の活動回	1巻					□	()()()	()()()	5		()4~_/
外目行到1.3	(主伯斯)	スノー 文碑司	FV对自動I凹	1300					121			9	9	
7														
2) 事務事	業の目的	1												
2) 対象			3	)対	象指	旨標			34 14	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
- (誰、何を対象	見にしてい	るのか)		(左訴	725	付象	の大きさを表	長す指標)	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
市民														
345D#														
街路														
7 自動車の利	用者·歩行	者												
4) 意図			5	)成	果排	旨標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象をどう	iしたいの:	ý2)	/ (2	左記	4意	図の	達成度を表	長す指標)	丰四	(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
7 通行の安全	が確保でき	る。												
快適に移動	できるように	かる.												
											_			
7														
(3) 上位の		ŧ												
6 基本事業							の成果指		単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにどのよう			()	生記	. ⑥ 恵	(図0)	達成度を表	とす指標)		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
安全・快適は	2移動ができ	きる												
•														
7														
					_									
. 事務事業					4.	事	<b>準費の推</b> 利	8	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
はは かくない										(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
本協議会負担の減額を行う	せ金は、平 こととなり	成26年度か 、市の負担に	ら負担金 は減少した	きた				支出金				0		
市民や議会な						事業	215	出金				0	0	
11八、成云/。	1211-1507	忠元(4寸(年)	/よし <sub>0</sub>			<b></b> 費	内 —	方 債	-			0	0	
					投			の他				45	45	
					投入量		事業費	財源	千円		0 (	0 45	45	4
					量		尹未貸		下円			45	45	4
					1									
					1									
									ii.		1	1	1	1

# 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

○本市は、参画することに伴う負担金を支出した。

○街路事業促進協議会で実施された研修会、ブロック会議等の活動報告などの情報提供を受け、今後の街路整備等の検討材料とし、整備手法の方向性を見出した。 協議会から国への要望活動を行うことに伴い、「社会資本整備総合交付金等」などの予算確保を訴えた。

	事務事業 コード	0108050399999	9901 事 務 事業名	街路事業関	係各種協議 ——	会等参画事業	担当部担当課		設部 計画課
6. <u>‡</u>	振り返り 〈	(SEE>					理 由		
	① この事	務事業の目的は、	基本事業の意図に終	結びついています	ナか?				
		結びついている							
乱		間接的に結びつい	いている						
A目的妥当性		結びついていなし	١						
醒	② ·この ・ 税金	事業をなぜ市が行れ を投入して達成する	っなければならない( 6目的ですか?	のですか?					
		妥当である							
		見直す必要がある	3						
	③ 成果か	向上する余地(可i	能性)はありませんだ	<b>5</b> √?					
		向上する余地はな	かなりある						
		向上する余地はな	ある程度ある						
		向上する余地は	まとんどない						
В	④ 廃止・	木止の影響はあり	ませんか?						
B有効性		影響がある							
19		影響がほとんどな	Į()						
			又は形態(イベントや 以外の主体が実施する		の事務	類似事業がある場 合の事務事業名等			
		類似の事業はない	L)						
		類似の事業はあ	るが、統合又は連携	できない					
		類似の事業があり	り、統合又は連携で	きる					
	⑥ ·事務事	業の手段(やり方)をなど、交付先に働きた	・工夫することで、事業費 かけて、市の負担を削減	費を削減できません 減できませんか?		協議会の規約で負 載することはできな		れているので、	市の負担金
		削減できない							
C 効		削減できる							
率性	(7) できませ	んか?	工夫することで、人件		<del>を削減</del> 予	算執行のみである	ことから、削減゛	できない。	
-			り人件費を削減できま	ぜんか?					
		削減できない 削減できる							
_	◎ 事務事	業の内容が一部の	D受益者に偏っている 性が確保されていま	ませんか?					
D公平性	また、!	受益者負担の公平 公平・公正である	THE NEW COLORS	<b>きすか?</b>	_				
性		見直す必要がある			_				
7 1		果 <plan></plan>							
7.				【参考】前	年度の改革改善		1	休止	<b>≫</b>
	事務事業( きの方向性		やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合		廃止
		O	     集を継続しているため	トレ 脱合笔の基	世界け出本か	ハレ老うろが 色ま	日本のはめ知為	の左り古を再用	F占給1 でL
				パに、肌云 守い16	1旦は川木仏				
(0)	T +	だくよう提っている。	案をすることは検討。 减は、本市のみでは	決定できない。			三立・グルス、「小山川以	-> E >>> E 115	CMMpco C
革改	平成27年原	きの改 だくよう提 コスト縮注	案をすることは検討。 減は、本市のみでは	, 決定できない。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	± 並Vノ/KK 【 NILINKK	-> E >>> E 11>	CAN DO C
革改		きの改 だくよう提 コスト縮注	案をすることは検討。 減は、本市のみでは	決定できない。			±·±zv v złyky ( złyky)	-> <u> </u> E>>> E   13	
革改	対善の内容	だくよう提 ゴスト縮河	減は、本市のみでは	決定できない。	是案し、より成				
(取)	対善の内容 り組むべき	だくよう提 まの改 課題) 本協議会 投資に見	案をすることは検討。 域は、本市のみでは 会の有効活用を再度 見合った、成果を表現	決定できない。 (検討することをも					
革改(取)	対善の内容	だくよう提 をの改 課題) 本協議会 投資に見	減は、本市のみでは 会の有効活用を再度	決定できない。 (検討することをも					
革改(取)	文善の内容 り組むべき 平成28年	だくよう提 をの改 課題) 本協議会 投資に見	減は、本市のみでは 会の有効活用を再度	決定できない。 (検討することをも					
革改(取)	文善の内容 り組むべき 平成28年	だくよう提 をの改 課題) 本協議会 投資に見	減は、本市のみでは 会の有効活用を再度	決定できない。 (検討することをも					
(3)向性	文善の内容 り組むべき 平成28年	だくよう提 をの改 課題) 本協議会 投資に見	域は、本市のみでは 会の有効活用を再度 見合った、成果を表₹	決定できない。 (検討することをも					
本改 (3) (3) (1)	文善の内容さり り組むべき 平成28年月 生・取組目材 2次評価結 事務事業(	だくよう提高 だくよう提高   課題) 本協議会   を変しています。   本協議会   を変しています。   本協議会   を変しています。   ないます。   を変しています。   ないます。   ないまする。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないまする。   ないまするないまする。   ないま	域は、本市のみでは 会の有効活用を再度 見合った、成果を表現	決定できない。 (検討することをも		果の上がる活動が			必要がある。
(3) (a) (b) (b) (c) (d)	文善の内容 り組むべき 平成28年 主・取組目材 2次評価結	だくよう提高 だくよう提高   課題) 本協議会   を変しています。   本協議会   を変しています。   本協議会   を変しています。   ないます。   を変しています。   ないます。   ないまする。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないまする。   ないまするないまする。   ないま	域は、本市のみでは 会の有効活用を再度 見合った、成果を表す	決定できない。 様計することを打 見できる参画事業	巻としたい。	果の上がる活動が	日容になるよう、 (	動きかけていく。	必要がある。
(3) (a) (b) (b) (c) (d)	文善の内容さり り組むべき 平成28年月 生・取組目材 2次評価結 事務事業(	だくよう提高 だくよう提高   課題) 本協議会   を変しています。   本協議会   を変しています。   本協議会   を変しています。   ないます。   を変しています。   ないます。   ないまする。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないまする。   ないまするないまする。   ないま	域は、本市のみでは 会の有効活用を再度 見合った、成果を表す	決定できない。 様計することを打 見できる参画事業	巻としたい。	果の上がる活動が	日容になるよう、 (	動きかけていく。	必要がある。
(3)性 (3)性 (1)善	文善の内容さり り組むべき 平成28年月 生・取組目材 2次評価結 事務事業(	だくよう提高 だくよう提高   課題) 本協議会   を変しています。   本協議会   を変しています。   本協議会   を変しています。   ないます。   を変しています。   ないます。   ないまする。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないます。   ないまする。   ないまするないまする。   ないま	域は、本市のみでは 会の有効活用を再度 見合った、成果を表す	決定できない。 様計することを打 見できる参画事業	巻としたい。	果の上がる活動が	日容になるよう、 (	動きかけていく。	

事務事業コード	0108050399999901	事 務 事業名	街	路事業関係	各種協議会等参	画事業	担当部担当課	建設部 都市計画課
9. コスト	の推移							
	(単位:千円)	平成26年	E度 (決	<b>と</b> 算)	平成27年度	(当初予算)		平成28年度(計画)
1 報		1 774=2 1		4217	177-172	( 13 7 31 7		17,2
2 給								
	員 手 当 等							
4 共	済費							
7 賃	害補償費金							
8 報								
9 旅	費							
10 交 11 需	際 費			0			0	0
	用   費     消耗品費			0			0	0
	然料費							
	食 糧 費							
	印刷製本費 光 熱 水 費							
I –	元 款 小 負 修 繕 料							
	ッパロ 11T 期材料費							
1	飼料費							
	医薬材料費			0				0
12 役	務 費 通信運搬費			0			0	0
	<u> </u>							
	手 数 料							
	保険料							
13 委 14 使用	託 料 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・							
	事請負費							
16 原	材 料 費							
	財産購入費							
	品 購 入 費 金補助及び交付金			45			45	45
20 扶	助費			40			40	40
21 貸	付 金							
	補填及び賠償金							
	<sup>金利子及び割引料</sup> 資 <b>及び出資金</b>							
25 積	<u>立</u> 金							
26 寄	附 金							
27 公	課費							
28 繰計	出 金			45			45	45
	国庫支出金			0			0	40
	県 支 出 金			0			0	
	地方債			0			0	
訳	そ の 他 般 財 源			0 45			0 45	45
	計			45			45	45
補助率	国							
補助		<b>1</b> 2□		W	<b>本柱</b> 合吐海子巴			
	<b>度補正 · 流用</b> ∜ 初予算	<b>人</b> 沙C	51		医特定財源内訳 区分		名称	金額
	正予算		0				H 1-1"	五 日光
			_					
			$\dashv$					
	月・充用							
予	算合計		51		1	合 計		0

	John ders.		平月	<b>攻27年</b>	度	3	争者	<b>分争</b> :	<b>耒</b> 振:	返り	シー	<u>-</u>	( 2	平成26年度	実施事業	の振返り)		
1. 基本		ı														- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	7th 50 dec	
事務事		01080504999999	事務事	<mark>業名</mark> 公	:園!	関係	各利	重協詞	義会等	参画	事業				-	<u>担当部</u> 担当課	建設部都市計画調	#
政策:	-	1 快	適で魅力あ	るまちづ	くり											<u>ループ</u> グループ	都市整備ク	
施策			舌基盤の充		•											電話番号	45-5111	
基本事			園・広場等の	の整備												内線番号	2881	
予	会計									귤	事業			単年度のみ	<b>+</b>			
予 算 科	款		木費								間			単年度繰過		度		
科目	項		市計画費							17111111111				期間限定初	夏数年度(		~	)
評価区	7公	04 公	宮實 B評価	評価対	+ 会	_	13	次評	in:		令·条例 車計[							
							11	八計1	Щ	天  天	生百门口	쁴						
			<b>目的・指標</b> ・(具体的な			章	√m≠.	4. r∈	\									
昭和42 、その成り 寄与する ●全国都	年から 果を活 ことを 『市公』	ムく国氏だ用すること 目的とした 園促進協議	≥により緑豊 :組織で、賛 義会(以下「	アンスペー かで良好 同、参画 協議会	ースの 子な うして という	か親(いう。)	で多と快道が、市	·様な 適な者 として	市環境では、協	竟、社 会から	会環	竟を創 報提	削出 供	けることでを を受けること	建康で文化 を主な効果	等に関する事 的なまちづく としている。 具体的方策を を受けること	り、国づくりの	の推進に
① 活動	指標	(事務事	業の活動量	<b>t</b> )								単位	<del>1</del>	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
9 724	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	. (1.23.1	,											(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア協会性	青報提	供										口				2	2	:
イ 協議:	会情報:	提供、提言										П				2	2	
	A 113 TA	DED TO DE LA														1		
ウ																		
		業の目的	]															
② 対象							指標					単位	<del>立</del>	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(誰、何	を対象	見にしてい	るのか)		(左訴	72	対象	の大:	きさを表	きす指	標)			(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア市民																		
イ公園																		
-																		
ウ																		
4 意図	-			<b>5</b>	)成	果	指標					単位	₩	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(②対象	をどう	したいの	か) <del>/x&gt;/末日 - 7</del> -	()	左記	<b>4</b> 1	<b>意図</b> 0	り達成	<b>보度を</b> 表	きす指	標)			(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
アーツル	クリエ・	一ション、ふ	ノや休息、スト れあいの場、 川用してもらう															
	面積が		IIHL (NO.															
ウ																		
		基本事業	ŧ .															
⑥ 基本									果指			単位	<del>立</del>	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(さらにと	ごのよう	な成果に終	吉びつくのか	a) / (2	左記	.6£	意図の	り達成	<b>戊度を表</b>	きす指	'標)	T1		(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)
ア憩いと	上交流0	り場が確保	される															
1																		
ウ																		
3. 事務	事業	の環境変	化-市民	意見等				alla, mida	- 14.7			» / I		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			、市民や議会な		見等)	4.	争;	<b>耒賀</b>	の推移	5		単位	<u>v</u>	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
			26年度から						国庫	支 出	金	千円	9			0	0	
			うの負担は注意見は特に		·	1	事		県支	出	金	千円	9			0	0	(
			<u>.</u> ,, ,,,,			l	業費	源内	地	方	債	千円	9			0	0	(
								内訳	そ	の	他	千円	9			0	0	(
					- [	投入	:[		一 般	財	源	千円	9			92	92	(
					- [	量	E	事	業費			千円	9	0	(	92	92	(
						٦												

# 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

協会について、研究報告等2回の情報提供を受けた。 協議会について、情報提供を1回受けた。また、協議会から国へ「公園 施設長寿命化計画」の提言が1回があった。

各種規模の公園緑地に関する研究成果等の情報提供を受け、今後の 公園整備等の検討材料とし、整備手法の方向性を見出した。 協議会から国への提言を行うことに伴い、「公園施設長寿命化計画」な どの予算確保を訴えた。

事務事業コード	01080	50499999901	事 務 事業名	公園関係	各種協	議会等参画	事業	担当部担当課		設部 計画課
6. 振り返り	<see></see>							理由		
<ol> <li>この事</li> </ol>	事務事業の	の目的は、基本	事業の意図に約	古びついています	か?					
	結びつ	いている								
<b>a</b> -	間接的	に結びついてい	いる							
A目的妥当性 ② ・ : : : : : : : : : : : : : : : : : :	結びつ	いていない								
当 ② ・この ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	事業をな	ぜ市が行わなけ て達成する目的	ればならない <i>の</i> ですか?	Dですか?						
	妥当で									
	見直す	 がある								
③ 成果	が向上する	る余地(可能性)	はありませんた	)\?						
	向トす	 る余地はかなり	Jある							
		る余地はある程								
		る余地はほとん								
<b>国</b>	• 休止の器	 ジ響はありません	いか?							
B   (4)   廃止	影響が									
性		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
			 形態(イベントや <sup>®</sup>	 啓発等)を持つ他	の事務	 類似事業 <i>t</i>	がある場			
事業	<b>まありませ</b>	たか?(市以外(				類似事業が合の事務事	業名等			
		事業はない	なるロけ 連携	<b>でキかい</b>						
		)事業はあるが、 								
= 3/2				きを削減できません	<b>いか?</b>			が定められている		担金を削減
·補助	金など、交	付先に働きかけて	、市の負担を削減	<b>述できませんか?</b>		ことはできない	い。 資効果等	を再検討し、退	会を決定するこ	とで、負担会
_	削減で					削減かできる	٥,			
効	削減で		ナスニレズ・レルキ	男 / スエ ぐ 業 3女 吐 門 )	<b>七</b> 火山 江市	予質執行()	 カみである	ことから、削減~	できない	
性 (7) できま	せんか?	なや委託により人作		<b>費(延べ業務時間)</b> せんか?	∠日1/成	7 95 0113	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
-	削減で	 きない								
	削減で									
D 8 事務	事業の内容	容が一部の受益 負担の公平性が	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ませんか?						
D	· / III   /	公正である	E INC 10 CO 'S	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
性	 見直す	 がある								
7. 1次評価網	店果 <f< td=""><td>PLAN&gt;(組績</td><td>決定)</td><td></td><td></td><td></td><td>,,</td><td></td><td></td><td></td></f<>	PLAN>(組績	決定)				,,			
		継続				革改善の方向性へ			休止	廃止
(1)事務事業 改善の方向性		<b>小性 かりし</b>	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携 ———	統合	**	光工
		面組織につい	ンプは 昭和40	 年代に当時設計	ーコンサチ	レタント笙がそ	頭する以	前に 大学研究	O	     小周敕借の
(2)平成27年	中のひ	計部分を多く担	∃っていたことを	千八にヨ時成司 背景とし、国の主 の活躍から、負	È導で設	立を行った組	1織である。	0		公園電闸
革改善の内容	\$									
(取り組むべき	→ 沐遐/									
		本市の方向性	 #を検討する							
		-1-14-520 [7]	77 IVH1 1 , 200							
(3)平成28年 向性·取組目	度の方 標									
8. 2次評価約	结果 (担	当部長評価)								
(1)事務事業	である	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト	-縮小	連携	統合	休止	廃止
改善方向性	の以中		・フカ政告	XI'')A)L		and 1.	ベエリカ	47L 🖂		
				<u>l</u>				<u> </u>		
(2)総 評										
		1								

事務	事業一ド	0108050499999901	事 務 事業名		公園関係名	 <b>各種協議会等参</b> 画	事業		<u> </u> 当部  当課	建設部 都市計画課
9. ⊐	ストの									
		(単位:千円)	平成26年	E度(	(決算)	平成27年度	(当初予算)	)	平成:	28年度(計画)
1	報		1774==	. ~		1774=172			1 770	1/2 (814)
	給	料								
		手当等								
	共 " <b>*</b>	済 費 詳補 償 費								
	<u>火 古</u> 賃	金								
	報	賞 費								
	旅	費								
	<u>交</u> 需	際   費     用   費			0	1		0		0
''		<u>用 貝</u> 耗品費				1				0
	燃	料 費								
	食									
		刷製本費 熱 水 費								
	修									
	賄	材 料 費								
	飼							_		
12	医 役	薬材料費 務 費			0			0		0
-		信運搬費								
	広									
	手保									
13	<u></u> 体 委	険料     託料								
		リスび賃借料 ・								
		請負費								
		材 料 費 財産購入費								
		,購入費								
		補助及び交付金			92	,		92		
	<u>扶</u> 貸	<u>助 費</u> 付 金								
		利子及び割引料								
		及び出資金								
	<u>積</u> 寄	<u>立</u> 金 附 金								
	<del>可</del> 公	課 費								
28	繰	出 金								
	計				92			92		0
1	持風	庫支出金 支出金			0			0		
財源	財地	方 債			0			0		
財源内訳	,	の他			0			0		
	<u> </u>	般 財源			92			92		
		国			92			92		0
	助率	県								
	助									
平成2		₹補正·流用∜	<b></b>	0.5	平成26年	F度特定財源内部	7	カエ		
		]予算 [予算		97		区分		名称		金額
	, ,,,									
				$\dashv$						
				$\dashv$						
				$\dashv$						
				$\dashv$						
		・充用		-5						
	予算	[合計		92			合 計			0